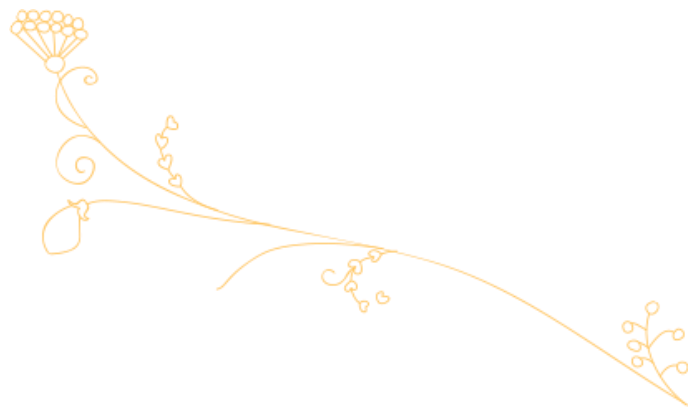




2021年12月期第3四半期 決算説明資料

2021年11月
株式会社セレス（東証第一部：3696）





1. ビジョンとビジネスモデル
2. 連結決算の概要
3. 成長戦略と事業概要
4. APPENDIX



1. ビジョンとビジネスモデル

インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。

モバイルから生活を豊かに

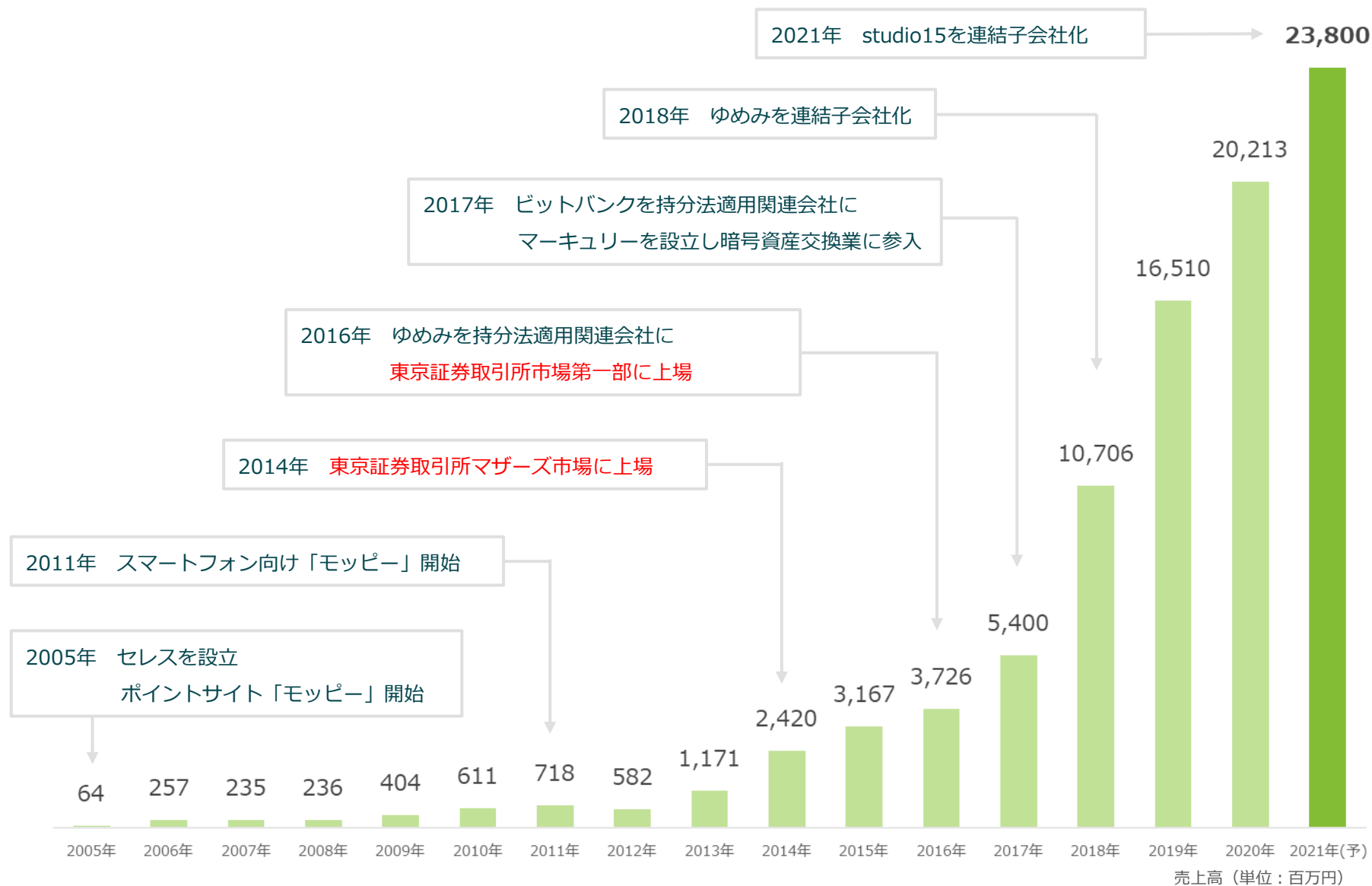


ceres

CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穡の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

会社名	株式会社セレス
設立年月日	2005年1月28日
所在地	東京都世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエア タワー24F
決算期	12月
資本金	18億8,170万円（2021年9月末現在）
代表者	代表取締役社長 都木 聡
従業員数（連結）	440名（2021年9月末／臨時雇用者含む）
事業内容	モバイルサービス事業 フィナンシャルサービス事業
連結子会社	株式会社マーキュリー、株式会社バックラス、株式会社ディアナ、studio15株式会社、株式会社ゆめみ
持分法適用関連会社	ビットバンク株式会社











セレスの沿革




セレスの事業領域と主要サービス

ポイントメディア・アフィリエイトプログラムを中心とした「モバイルサービス」と「フィナンシャルサービス」の2セグメントより構成

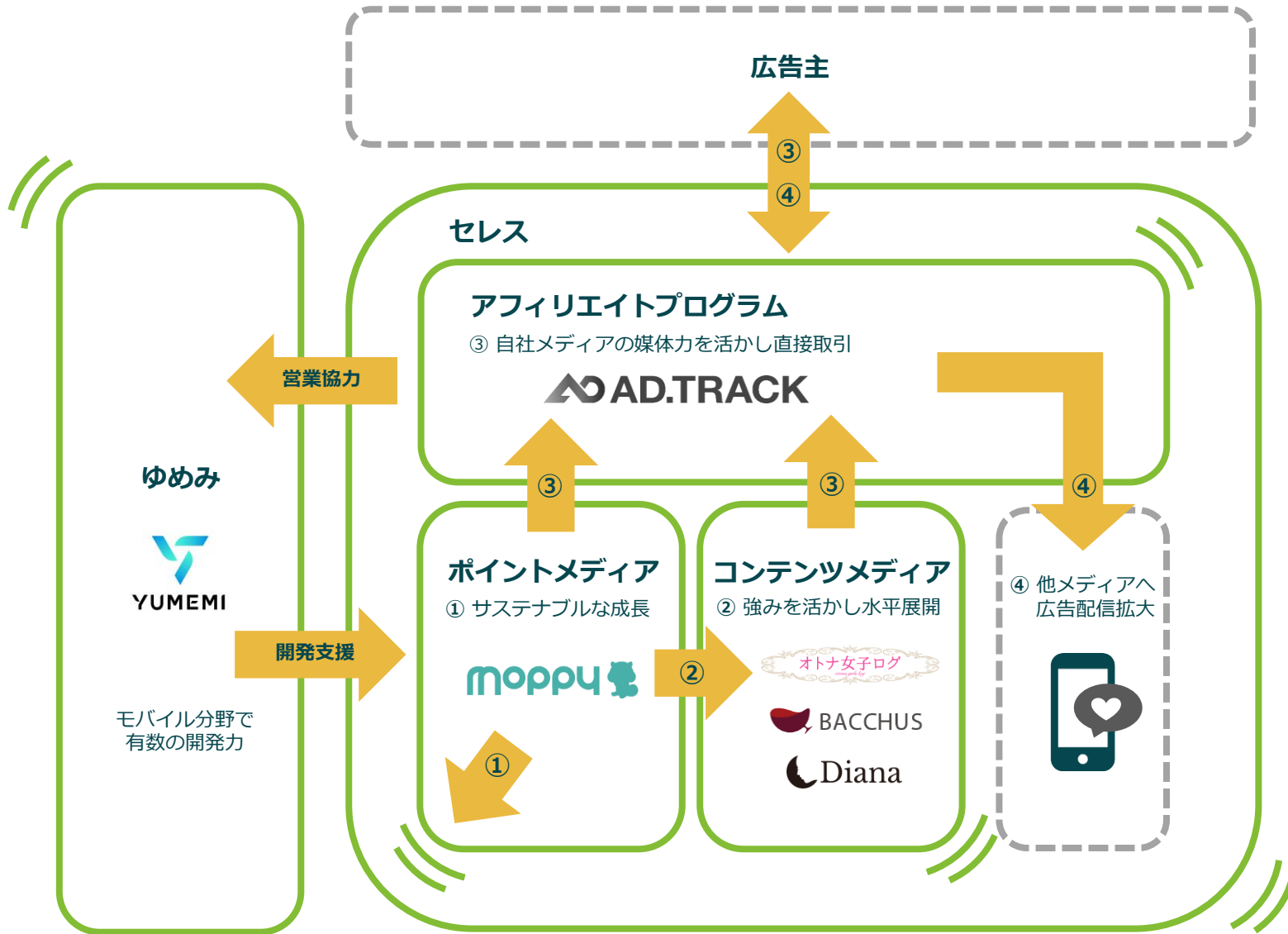
■ モバイルサービス事業

ポイントメディア	
アフィリエイトプログラム	 
コンテンツメディア	     
デジタル トランスフォーメーション (DX)	

■ フィナンシャルサービス事業

ブロックチェーン関連	 
オンラインファクタリング	 
投資育成事業	CVC (コーポレート ベンチャー キャピタル)

モバイルサービスの事業領域



セレス



ブロックチェーン関連事業の研究・開発及びマーケティング支援・CVC投資

POSマイニング（ステーキング）事業
※マーキュリーに委託



BTC海外送金サービス
137カ国に対応

持分法適用関連会社
(22%)

子会社
(100%)

CVC投資

ビットバンク



国内最大規模の
暗号資産取引所を運営

取扱い通貨：21ペア

技術連携
カバー取引

マーキュリー



暗号資産販売所を運営
2021年3月開業

取扱い通貨：5ペア

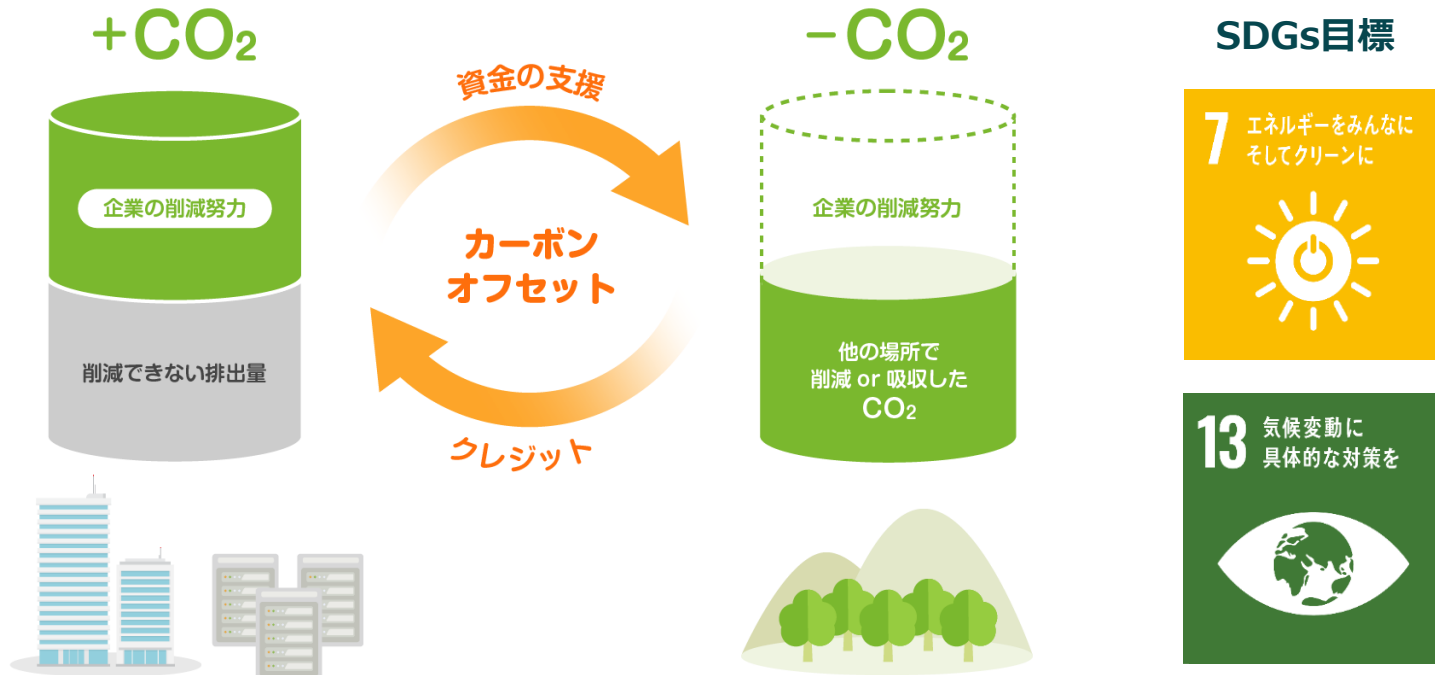
協業/連携

投資先ベンチャー



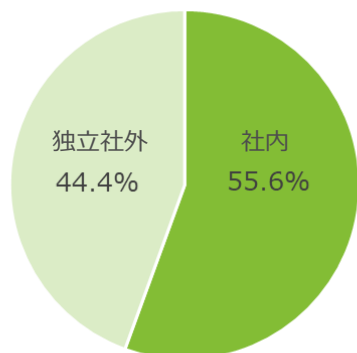
セレスグループは2021年度から「カーボンニュートラル」の実現へ
政府目標の2050年に先立ち2021年からカーボンニュートラルを達成

ポイントサイト「モッピー」をはじめグループのWebサービスで使用される
サーバーやオフィスで使用される電力に伴う排出CO₂の100%オフセット

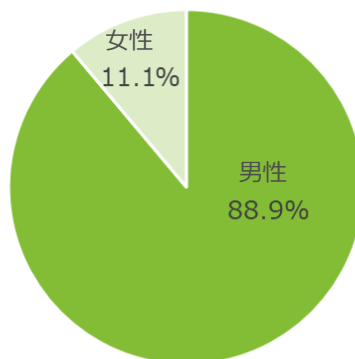


コーポレートガバナンスの取組強化により中長期的な企業価値増大へ
持続的成長のためにジェンダー平等などダイバーシティの充実を推進

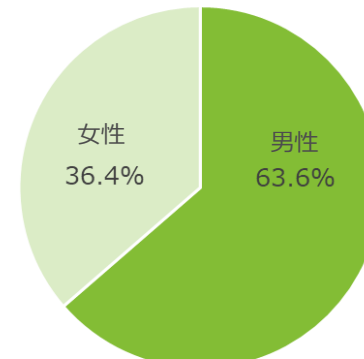
セレス取締役
独立社外取締役比率



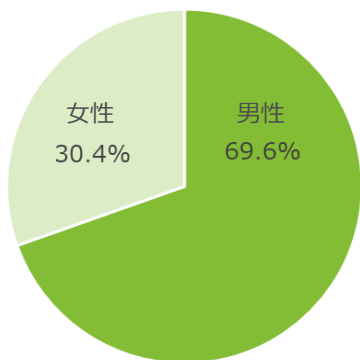
セレス取締役
男女比



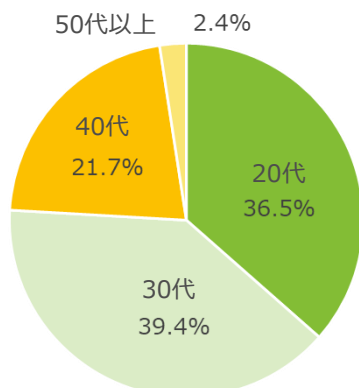
セレス管理職
男女比



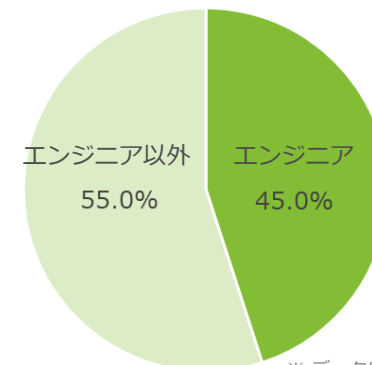
セレスグループ
男女比



セレスグループ
年代別



セレスグループ
エンジニア比率



※ データは2021年9月末時点



2. 連結決算の概要

損益計算書の概要（第3四半期累計）

（単位：百万円）	2021年12月期 第3四半期累計	2020年12月期 第3四半期累計	前年同期比
売上高	18,221 (100.0%)	14,581 (100.0%)	+25.0%
売上総利益	6,342 (34.8%)	4,296 (29.5%)	+47.6%
販売費及び一般管理費	4,099 (22.5%)	3,047 (20.9%)	+34.5%
営業利益	2,243 (12.3%)	1,248 (8.6%)	+79.6%
経常利益	3,364 (18.5%)	1,307 (9.0%)	+157.3%
四半期純利益※1	3,083 (16.9%)	647 (4.4%)	+376.6%
EBITDA※2	4,480 (24.6%)	1,458 (10.0%)	+207.3%

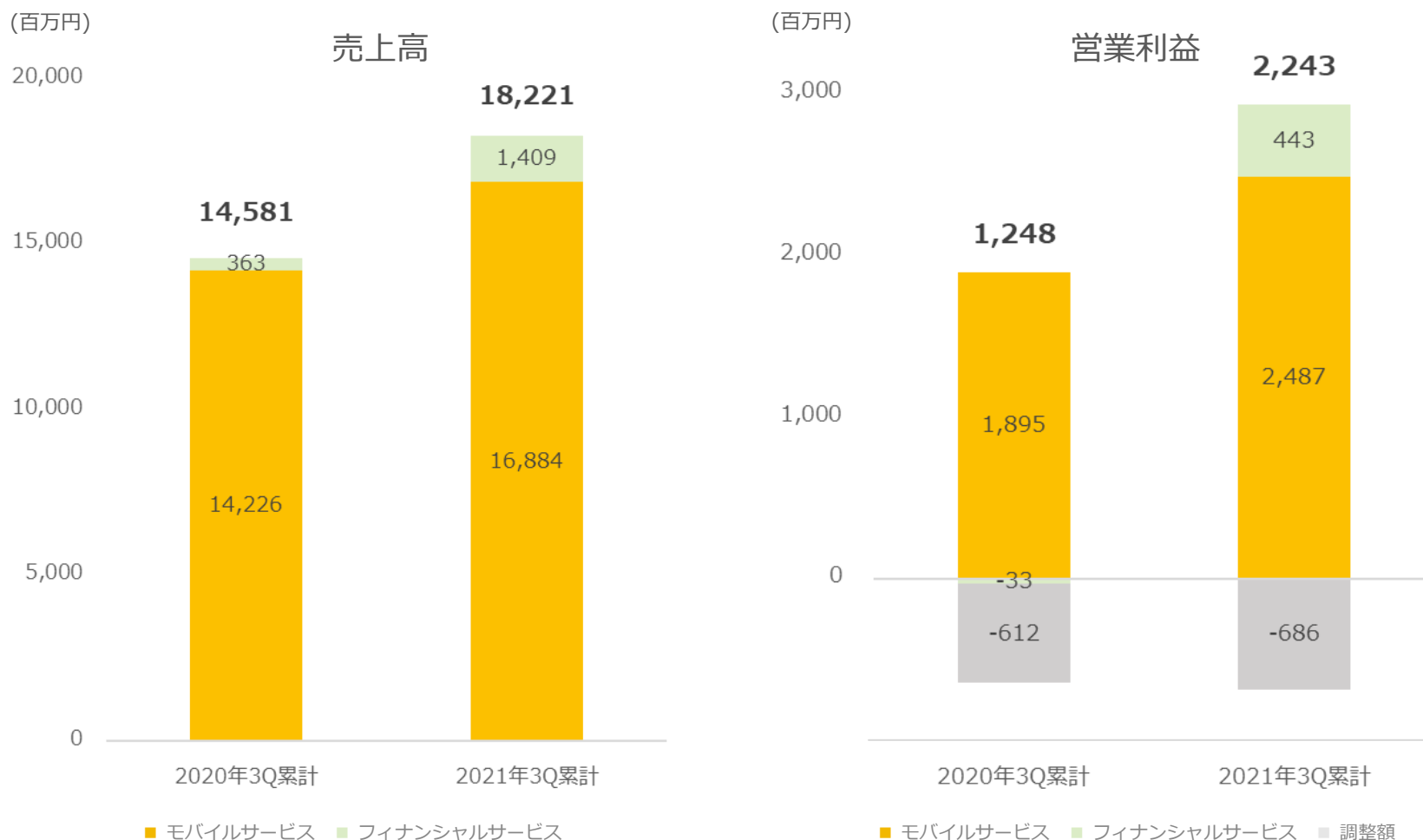
※1 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

セグメント別売上高（第3四半期累計）

(単位：百万円)	2021年12月期 第3四半期累計	2020年12月期 第3四半期累計	前年同期比
売上高	18,221 (100.0%)	14,581 (100.0%)	+25.0%
モバイルサービス事業	16,884 (92.7%)	14,226 (97.6%)	+18.7%
ポイントメディア	6,793 (37.3%)	4,172 (28.6%)	+62.8%
アフィリエイト	4,786 (26.3%)	6,118 (42.0%)	-21.8%
コンテンツメディア	2,790 (15.3%)	1,709 (11.7%)	+63.2%
ゆめみ	2,835 (15.6%)	2,225 (15.3%)	+27.4%
セグメント内の振替高	-321 (-)	- (-)	-
フィナンシャルサービス事業	1,409 (7.7%)	363 (2.5%)	+288.2%
セグメント間の内部売上高又は振替高	-72 (-)	-7 (-)	-

モバイルはポイント好調で前年同期比18.7%増収・31.2%増益に フィナンシャルは営業投資有価証券等の売却で288.2%増収に



※ セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。



売上高は前年同期比25.0%増でフィナンシャル事業も貢献

- ・ポイントはユーザー増と前期コロナ禍で減少した広告の復調続き前年同期比62.8%増収
- ・アフィリエイトは法改正に伴う規制強化によりAFメディア獲得力減で苦戦
- ・コンテンツは記事広告型メディアの足元苦戦もD2Cが10倍以上に成長し63.2%増収
- ・投資育成事業の一部株式売却等により前年同期比約4倍に

営業利益は前年同期比79.6%増の2,243百万円

- ・ポイントとゆめみの好調がけん引し3Q累計のモバイル全体では31.2%の増益
- ・フィナンシャルは2Qのアーンアウトと3Qの一部株式売却に伴う利益がけん引
- ・マーキュリーとD2Cへの積極的な広告投資を継続

経常利益は前年同期比2.5倍超の3,364百万円

- ・暗号資産市場の活況が続きビットバンクによる持分法投資利益が874百万円
- ・ビットバンクの資金調達に伴う持分変動利益発生で特別利益880百万円計上
- ・EBITDAは1Qからの好調が継続し会社計画を上回る4,480百万円に

損益計算書の概要（第3四半期）

(単位：百万円)	第3四半期 (2021年7-9月)	前年同期 (2020年7-9月)	前年同期比	第2四半期 (2021年4-6月)	前四半期比
売上高	5,353 (100.0%)	4,983 (100.0%)	+7.4%	6,399 (100.0%)	-16.3%
売上総利益	1,805 (33.7%)	1,831 (36.7%)	-1.4%	1,955 (30.6%)	-7.7%
販売費及び 一般管理費	1,238 (23.1%)	1,391 (27.9%)	-11.0%	1,328 (20.8%)	-6.8%
営業利益	567 (10.6%)	439 (8.8%)	+29.1%	626 (9.8%)	-9.4%
経常利益	736 (13.8%)	492 (9.9%)	+49.5%	774 (12.1%)	-4.9%
四半期純利益※1	1,286 (24.0%)	261 (5.3%)	+391.2%	457 (7.2%)	+181.0%
EBITDA※2	1,702 (31.8%)	562 (11.3%)	+202.4%	857 (13.4%)	+98.6%

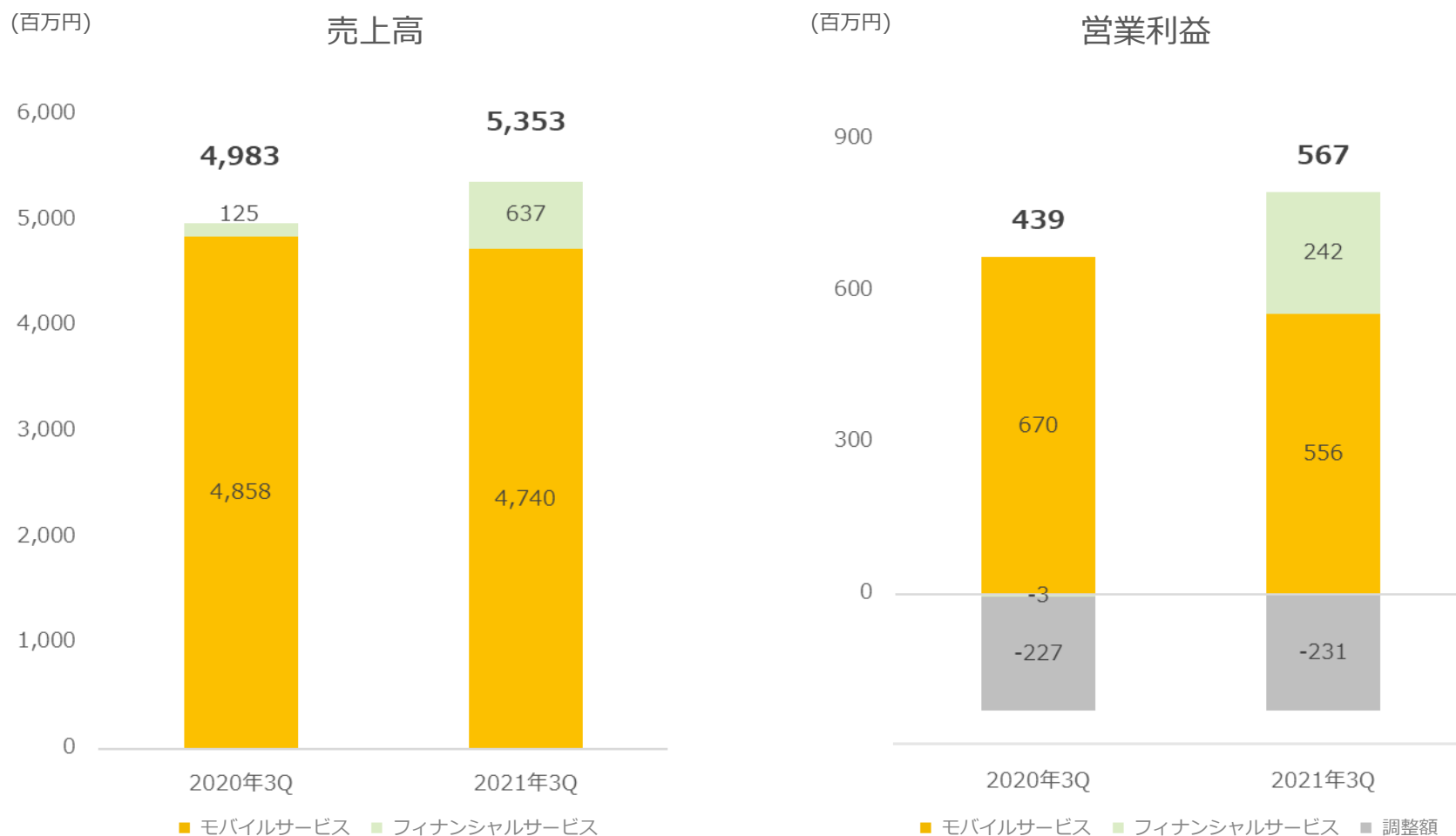
※1 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

セグメント別売上高（第3四半期）

(単位：百万円)	第3四半期 (2021年7-9月)	前年同期 (2020年7-9月)	前年同期比
売上高	5,353 (100.0%)	4,983 (100.0%)	+7.4%
モバイルサービス事業	4,740 (88.5%)	4,858 (97.5%)	-2.4%
ポイントメディア	2,020 (37.7%)	1,192 (23.9%)	+69.5%
アフィリエイト	1,189 (22.2%)	1,887 (37.9%)	-37.0%
コンテンツメディア	726 (13.6%)	990 (19.9%)	-26.6%
ゆめみ	966 (18.1%)	788 (15.8%)	+22.5%
セグメント内の振替高	-162 (-)	- (-)	-
フィナンシャルサービス事業	637 (11.9%)	125 (2.5%)	+408.4%
セグメント間の内部売上高又は振替高	-23 (-)	-0 (-)	-

モバイルはアフィリエイトが減収で前年同期比2.4%減収・17.0%減益 フィナンシャルは一部株式売却でマーキュリー投資による赤字を吸収



※ セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2021年12月期 第3四半期末	2020年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産		12,894 (65.6%)	11,517 (71.0%)	+1,376	現金及び預金 +1,168 営業投資有価証券 +399 売掛金 -206
	固定資産	6,751 (34.4%)	4,709 (29.0%)	+2,041	関係会社株式 +1,774 投資有価証券 +168
資産合計		19,645 (100.0%)	16,227 (100.0%)	+3,418	
流動負債		8,315 (42.3%)	7,471 (46.0%)	+844	短期借入金 +650 ポイント引当金 +637 買掛金 -417
	固定負債	1,311 (6.7%)	1,663 (10.3%)	-352	長期借入金 -177 社債 -175
負債合計		9,627 (49.0%)	9,135 (56.3%)	+492	
純資産合計		10,017 (51.0%)	7,091 (43.7%)	+2,926	四半期純利益 +3,083 配当金 -197
負債・純資産合計		19,645 (100.0%)	16,227 (100.0%)	+3,418	

通期連結業績予想に対する進捗状況

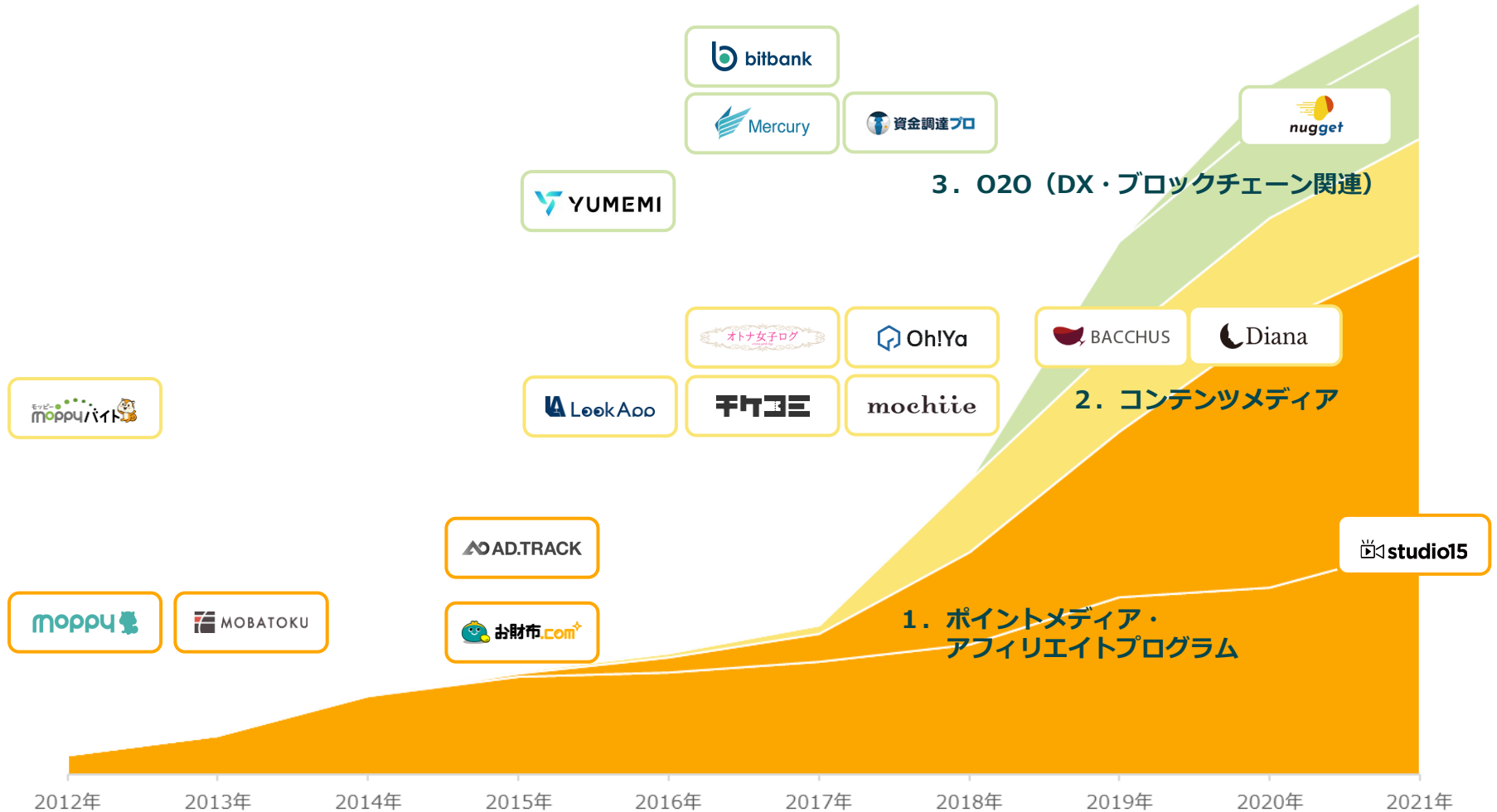
(単位：百万円)	2021年12月期 第3四半期累計	2021年12月期 9/2修正予想	進捗率	2020年12月期 実績
売上高	18,221	23,800	76.6%	20,213
営業利益	2,243	2,000	112.2%	1,496
経常利益	3,364	3,000	112.1%	1,816
当期純利益	3,083	3,000	102.8%	744
EBITDA	4,480	4,400	101.8%	2,032

- 営業利益、経常利益、当期純利益、EBITDAについては、第3四半期累計で通期連結業績予想の数値を超過していますが、第4四半期にポイントメディア事業、D2C事業、ブロックチェーン関連事業において先行投資を強化するため通期連結業績予想の数値を据え置いております。



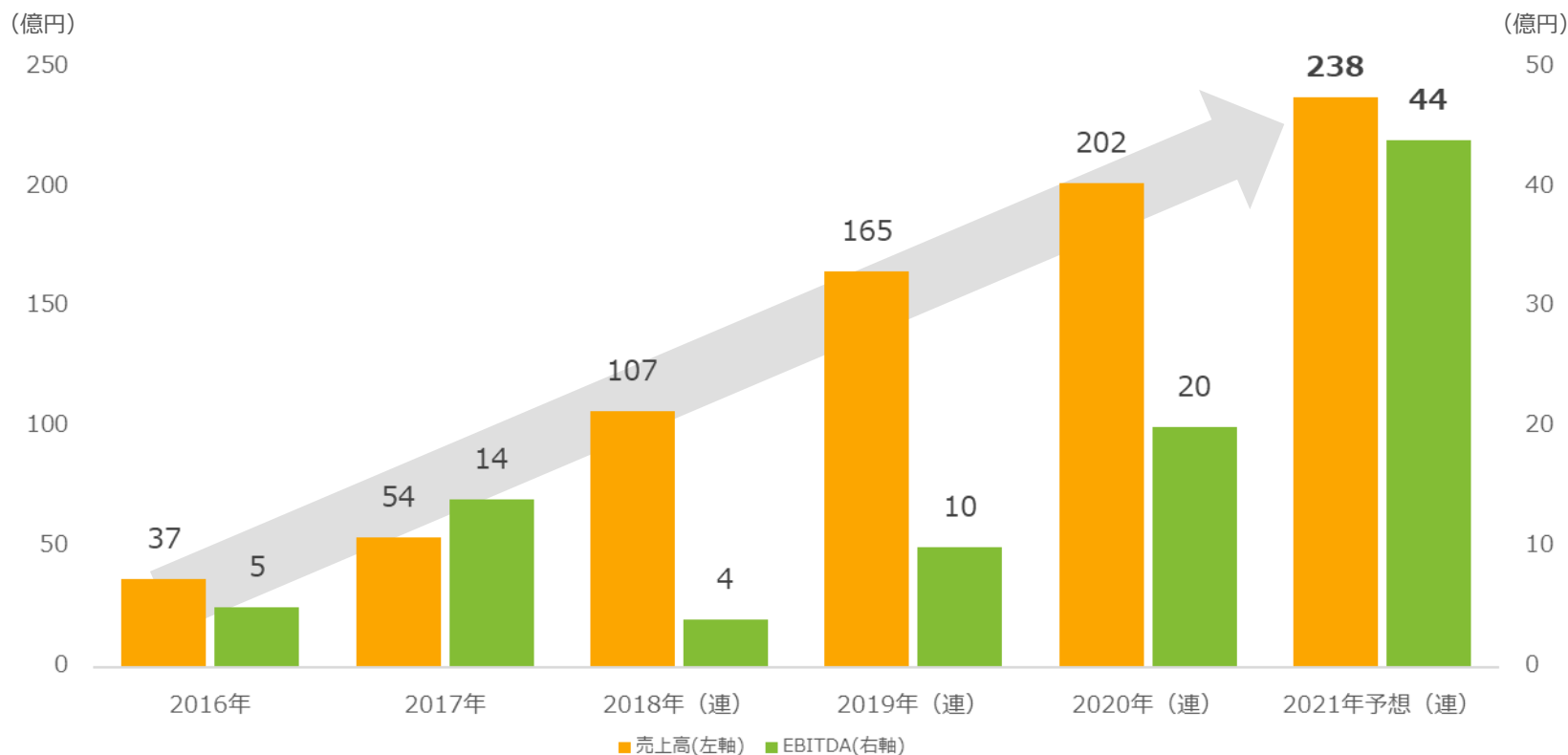
3. 成長戦略と事業概要

「ポイントメディア+a」への投資を継続、中長期成長へ



中期経営計画（最終年度）

5カ年計画直前年度 売上高：37億円 利益(EBITDA)：5億円
5カ年計画最終年度 売上高：238億円 利益(EBITDA)：44億円



※ EBITDA=税金等調整前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算)+減損損失
※ 2018年以前のEBITDAの数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。



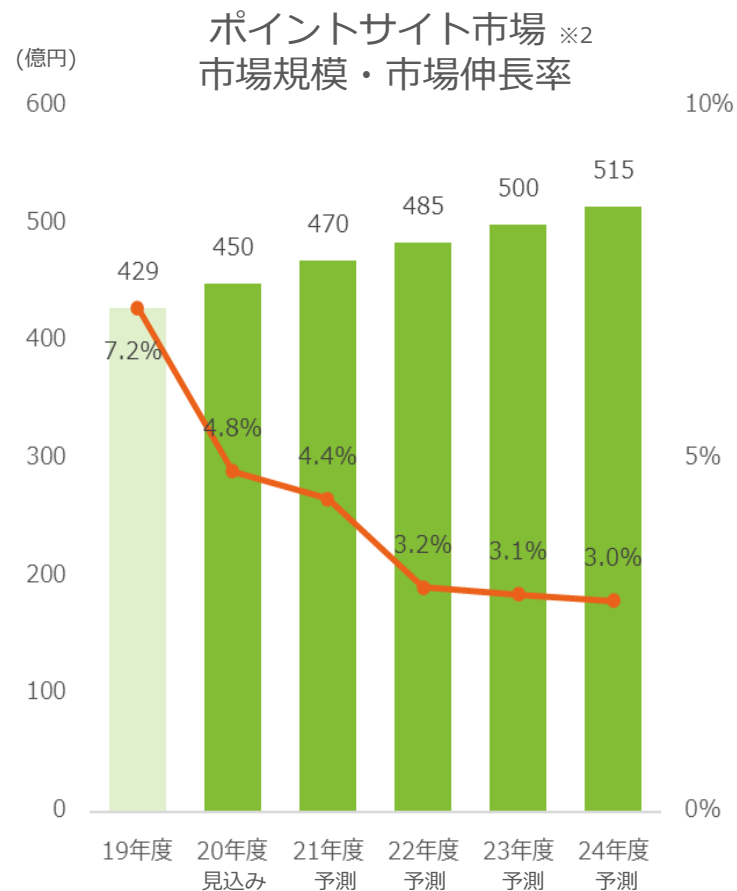
セレス モバイルサービス (ゆめみ除く)

CAGR : 55.3% ※1



セレス ポイントメディア

CAGR : 18.3% ※1

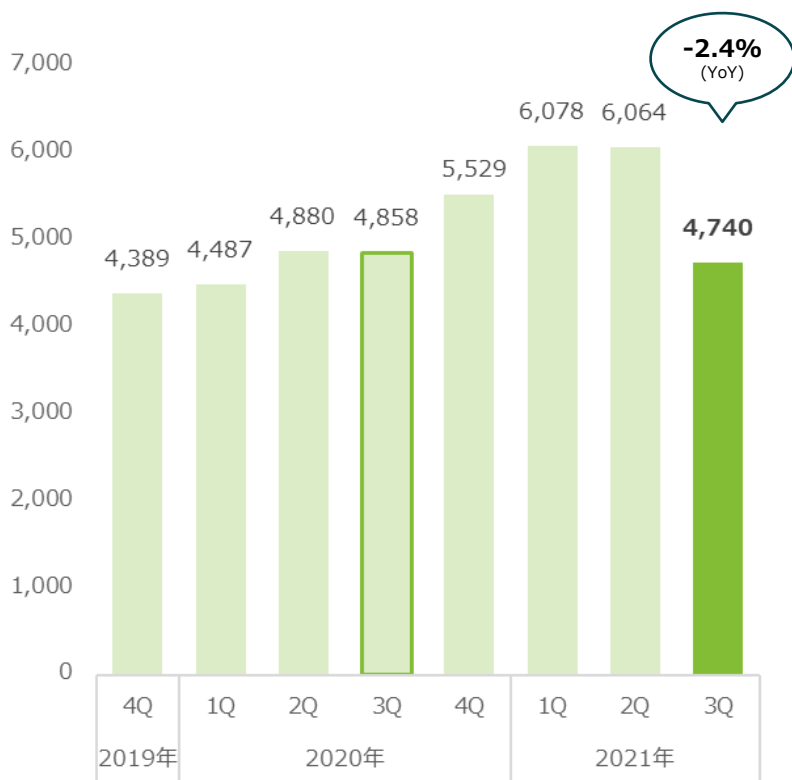


※1 CAGRは2017年から2020年の売上高年平均成長率
 ※2 矢野経済研究所「アフィリエイト市場の動向と展望2021」

ポイントは堅調もアフィリエイトとコンテンツの苦戦により減収 D2C事業の広告投資の加速と法改正の影響により営業減益

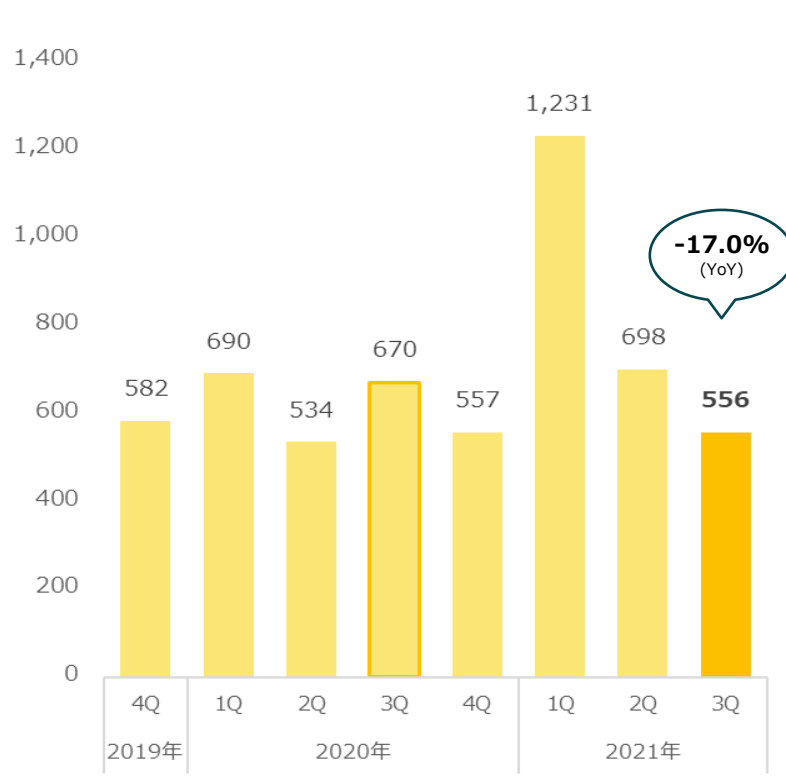
(百万円)

売上高

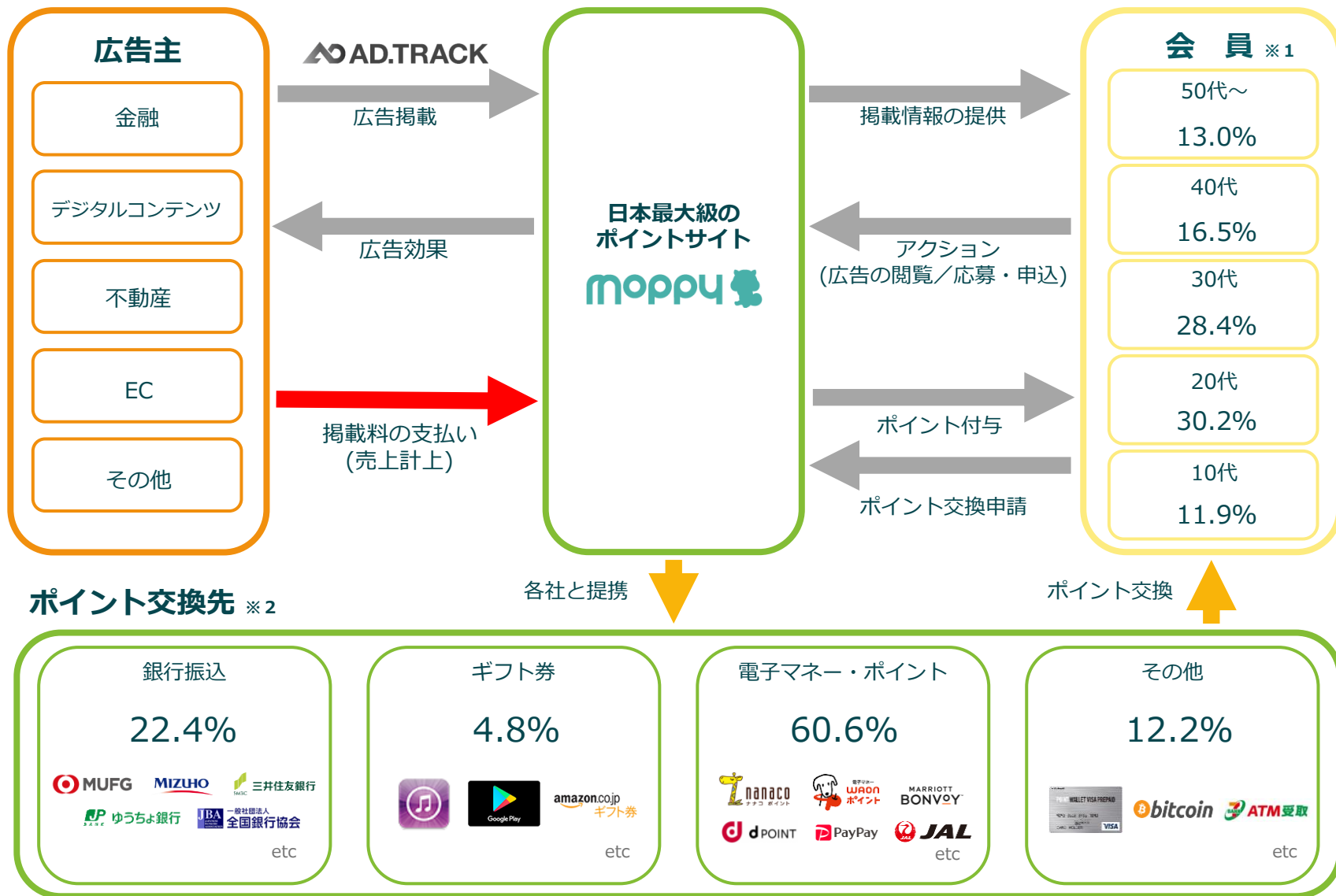


(百万円)

営業利益



ポイントメディアについて

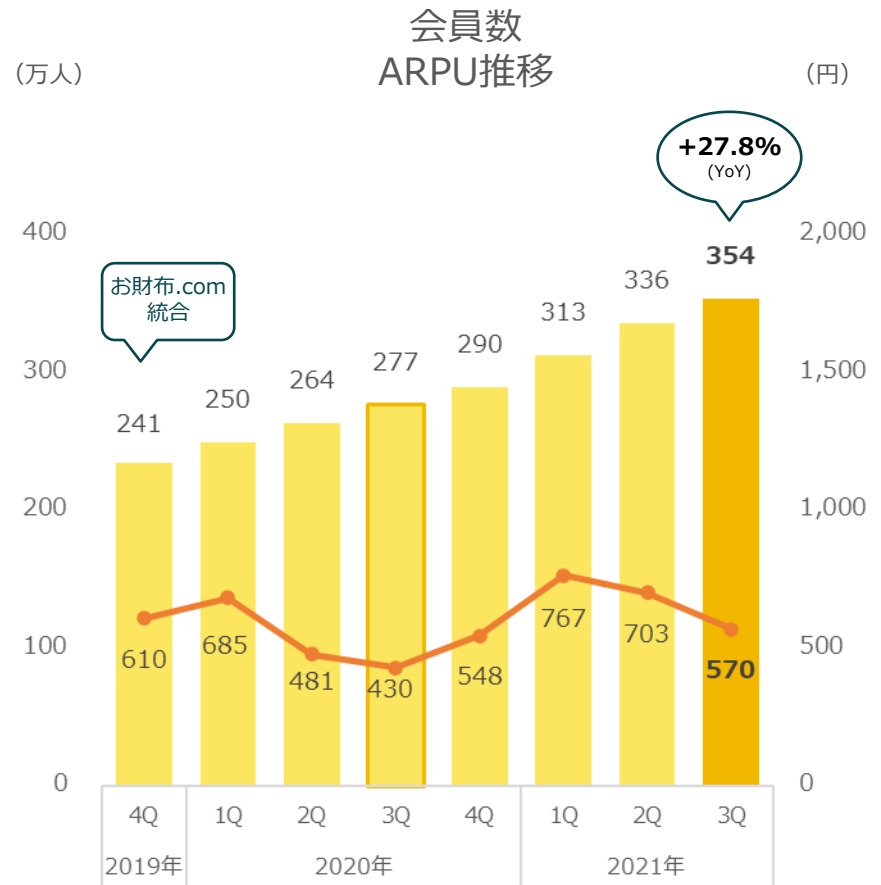
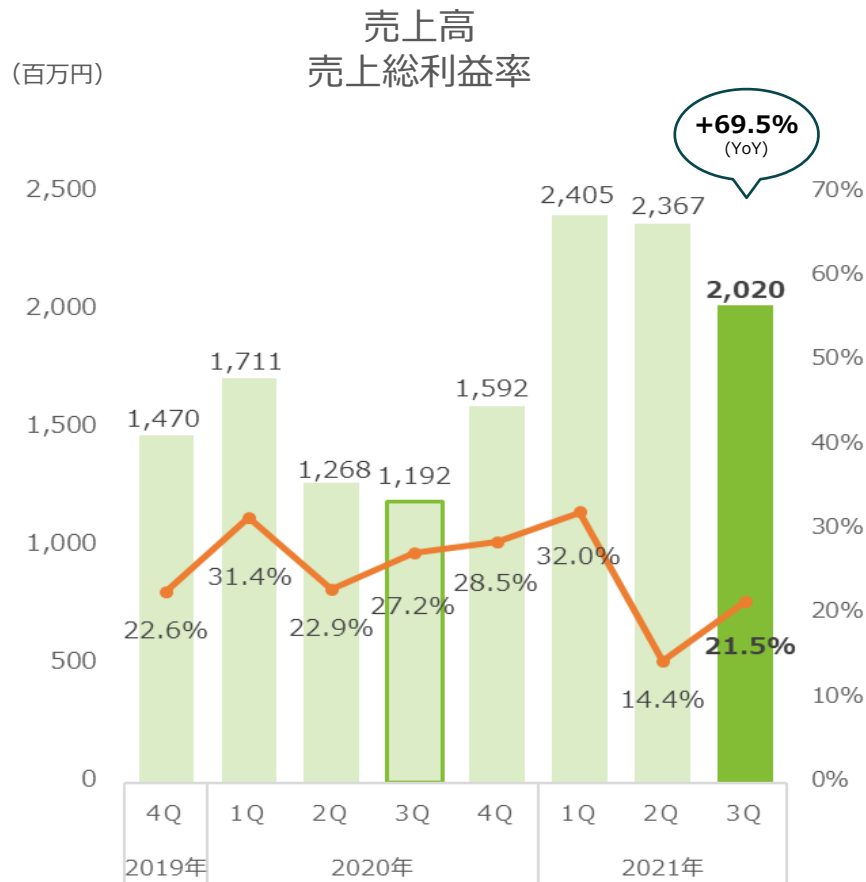


※1 2021年9月末日時点の割合

※2 2021年7~9月に発生したポイント交換割合

ポイントメディアの業績推移

アプリ会員増と金融系広告の出稿需要回復により前年同期比69.5%増収
粗利率の改善は競合戦略上のポイント還元強化により限定的に

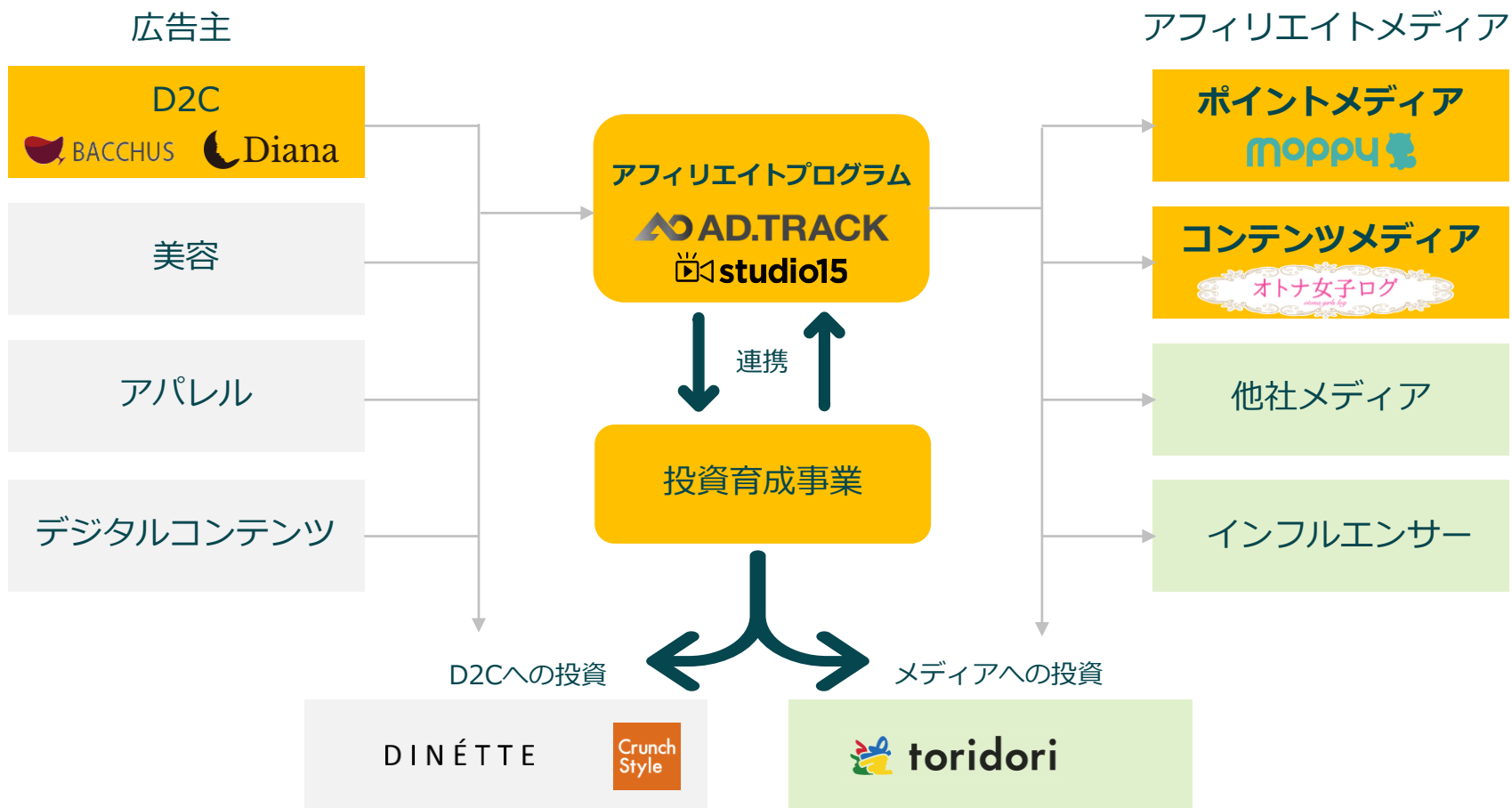


■ 売上高 (左軸) ● 売上総利益率 (右軸)

■ モッピー (左軸) ● ARPU (右軸)

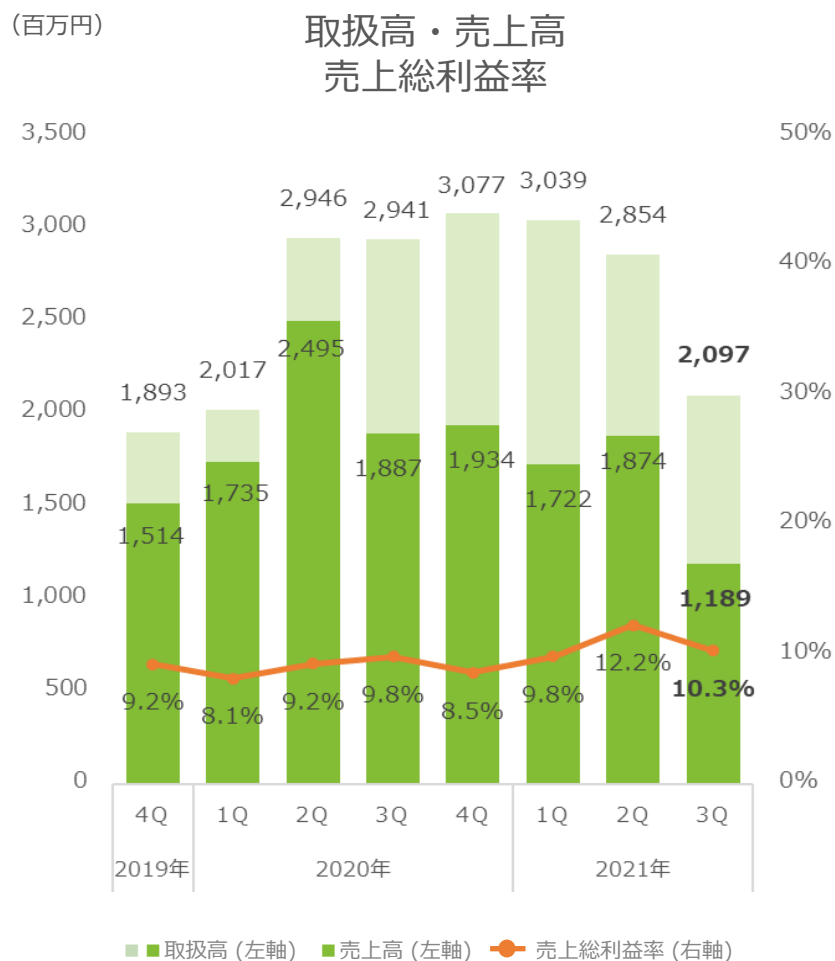
アフィリエイトプログラムについて

自社メディアの媒体力を活かしアフィリエイトプログラムAD.TRACKを拡大
投資育成事業と連携しD2C・メディア系ベンチャーへの投資により事業提携



アフィリエイトプログラムの業績推移

事業環境の変化により取扱高は前年同期比28.6%減・売上高は同37.0%減
インフルエンサーマーケティング強化のためstudio15を買収



減収の理由

- ✓ 昨年のコロナ特需 (EC・デジタルコンテンツ) が剥落
- ✓ 個人情報保護からのcookie・IDFA規制
- ✓ 消費者保護からの景表法・薬機法 (8月施行) の規制強化によりクリエイティブ表現に制限
- ✓ 美容・健康食品のEC構成比 (7割) が高い

アフィリエイトメディアの獲得力が大幅減

今後の戦略

- 美容・健康食品以外の広告取扱いを拡大
- チャットツール (B2B SaaS) の導入拡大
- インフルエンサーマーケティングの強化

次のページへ

TikTok公認MCNでクリエイター事務所のstudio15を100%子会社化
ライブコマース市場を見据えインフルエンサーマーケティングを強化

Studio15について

TikTok公認MCN（マルチチャンネルネットワーク）

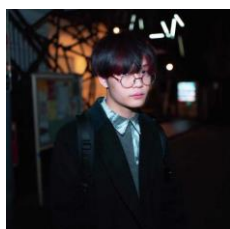
- ✓ 専属契約クリエイター：約**100名**
- ✓ 総フォロワー数：約**2,000万フォロワー**
- ✓ 累計総再生回数：**50億回以上**

インフルエンサーマーケティング強化のため、
2020年11月に資本提携し、2021年10月1日に
200百万円で買収

■ 主な所属クリエイター



きよんぺいカップル
120万フォロワー



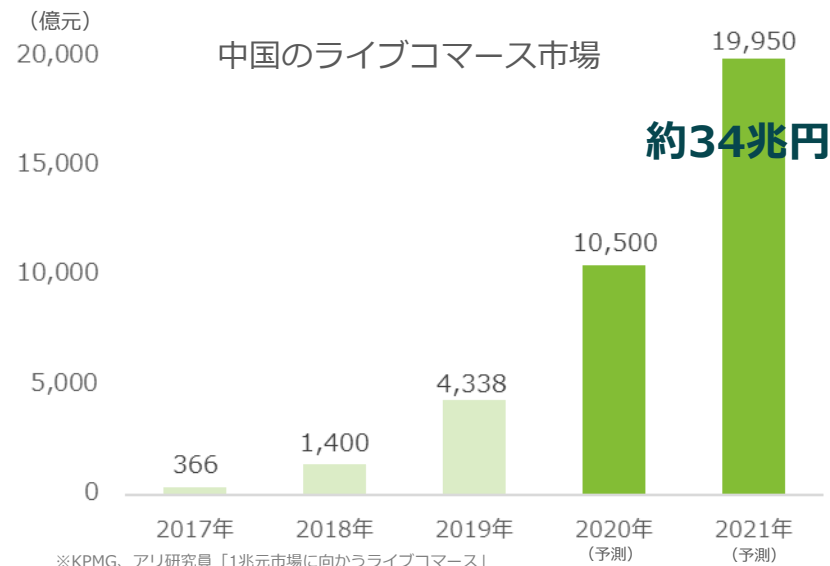
成瀬
71万フォロワー



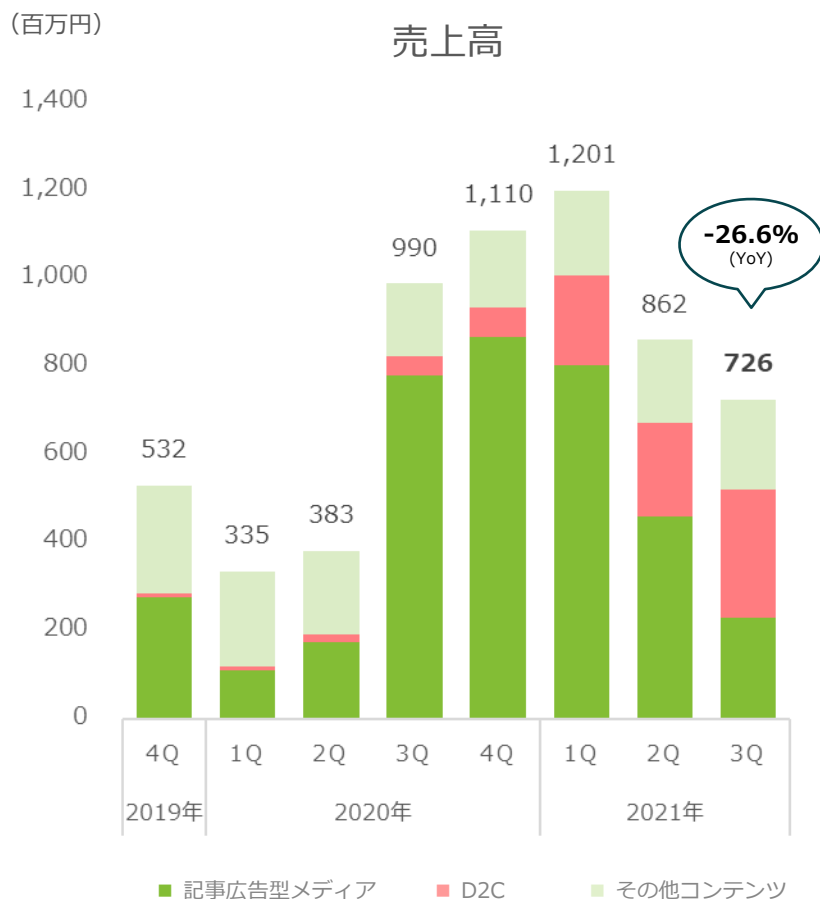
プリッフィー
100万フォロワー

急拡大するライブコマース市場

- 米英でTikTok利用時間がYouTubeを上回る
- 中国版TikTokのDouyinは外部リンク可能で
ライブコマース市場は急成長
- TikTokでも外部リンク導入が予想される
- クリエイターエコノミーが拡大



記事広告型メディアは広告出稿先の規制強化の影響が続き減収トレンド
ポートフォリオ戦略の見直しを行い「選択と集中」を進める



事業ポートフォリオの見直し

コンテンツメディアは8プロダクトに拡大
記事広告型・求人・ゲーム・コミック・不動産・住宅・D2C×2

成功報酬型アルバイト求人サイトを売却

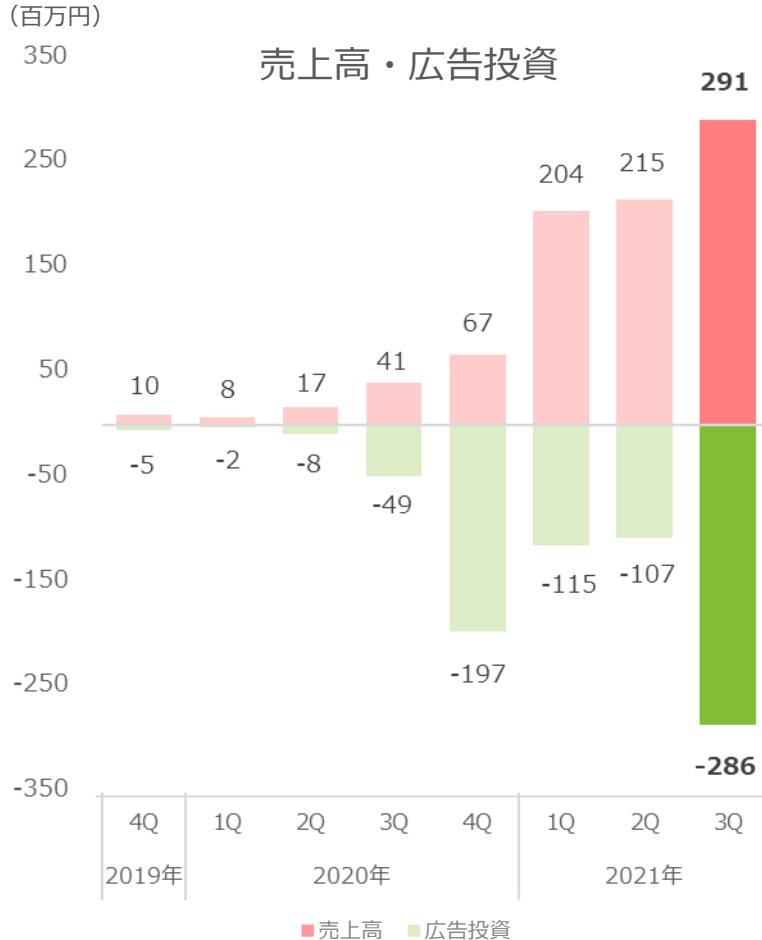
- ✓ サイト名 : モッピーバイト
- ✓ 売却先 : 株式会社アドヴァンテージ
- ✓ 売却方法 : 吸収分割 (20百万円)
- ✓ 選択事由 : コロナ禍でアルバイト求人消滅
- ✓ 効力発生日 : 2021年12月1日 (予定)

D2Cへの集中投資

- 記事広告型メディアの一部リソースをD2Cのインハウス広告運用へ転換
- 広告投資・商品開発を加速し投資を強化

次のページへ

D2C×サブスクリプション×アフィリエイトでストック型ビジネスへ投資
 広告投資と商品開発強化の先行投資を実施し中長期利益の極大化へ



D2C強化の取組み

広告投資を強化し定期商品の新規顧客獲得を推進

- AD.TRACKとの連携強化で広告投資増加
- 記事広告型メディアからリソース転換
- タレント起用によるブランド価値向上

商品開発を強化しクロスセルによるLTV向上図る

- 3Qに健康食品を投入済
- 年内2商品の投入を予定
- 来期以降の美容商品ラインナップを強化

主力商品『エトワールボーテ』

■ ホワイトメモリークリーム

形状記憶ジェルで「贅沢保湿×艶雪肌」へ導く
 日本初処方オールインワンジェル



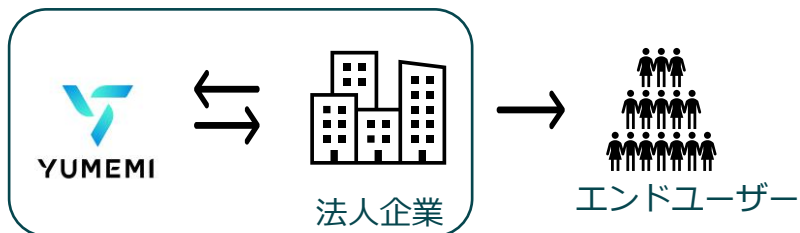
ゆめみについて

会社概要

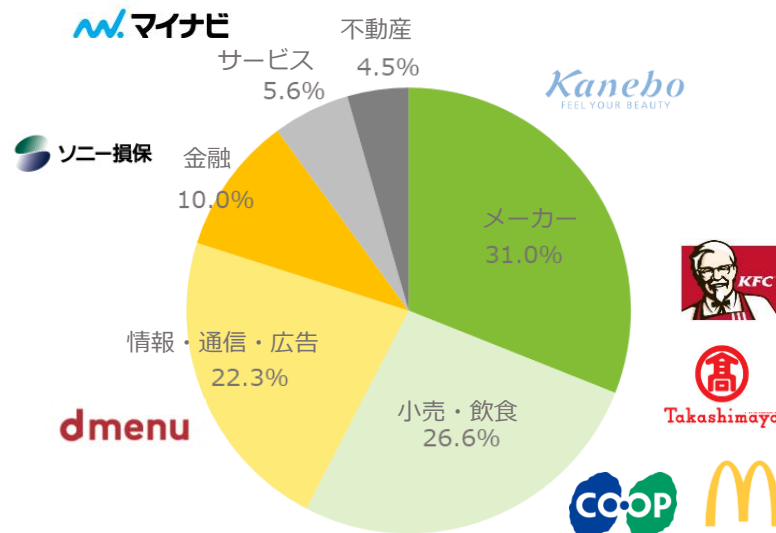
設立年月日 : 2000年1月27日
決算期 : 12月
資本金 : 100百万円
代表者 : 片岡 俊行
従業員数 : 262名(2021年9月末)
事業内容 : 企画・開発・コンサルティング
オムニチャネルマーケティング支援
自社サービス運営
2016年 セレス資本業務提携
2018年 セレス連結子会社化

BnB2C(B and B to C)

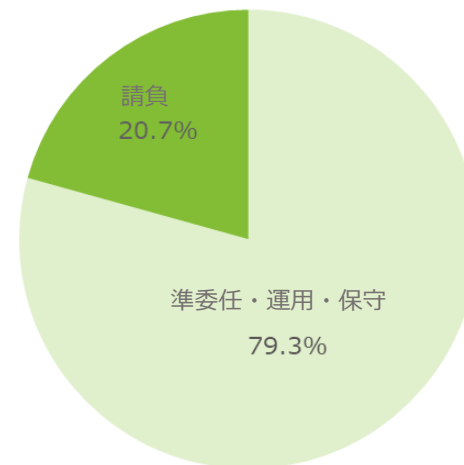
- 企業の方針／戦略を共有し対等な関係で企画
- エンドユーザー向けのネットサービス展開



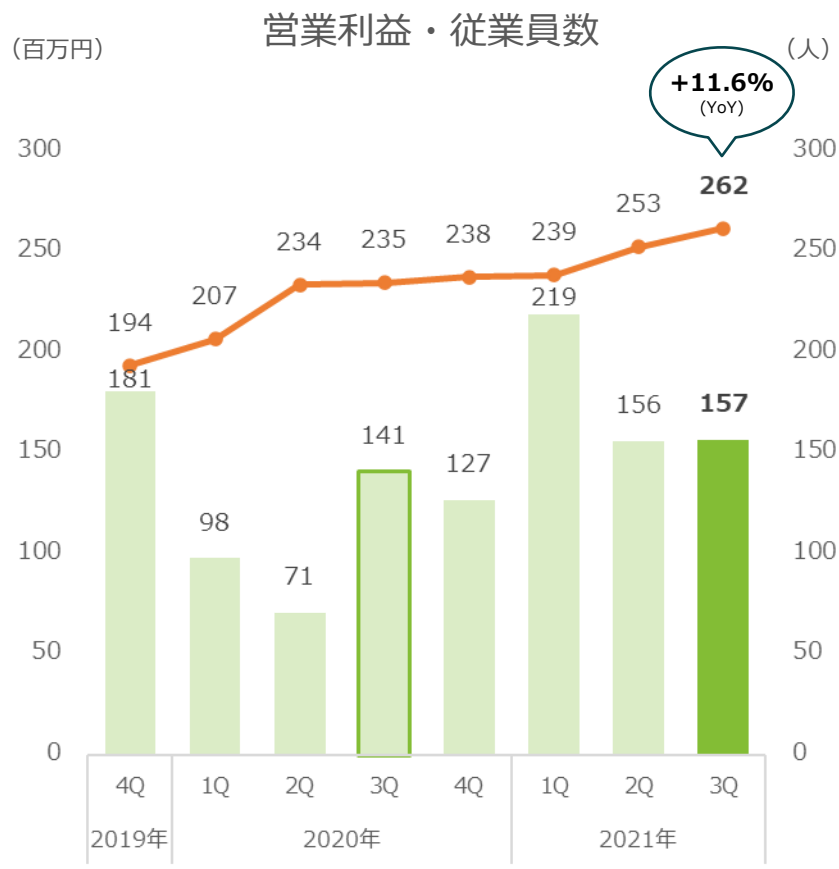
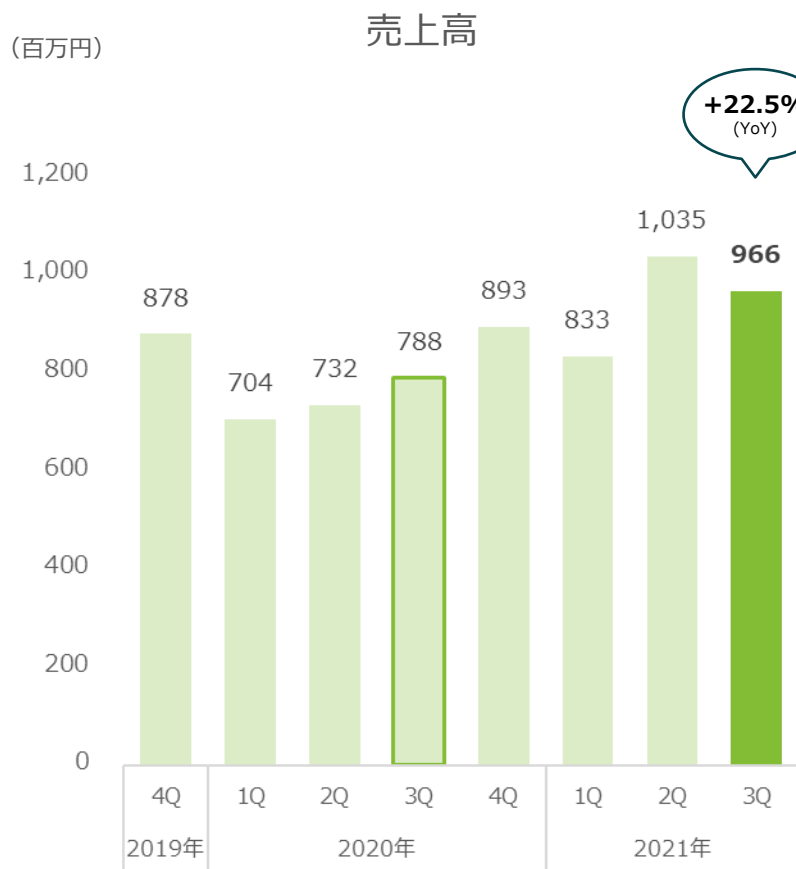
顧客業種別割合(2021年3Q累計)



セグメント別売上高(2021年3Q累計)



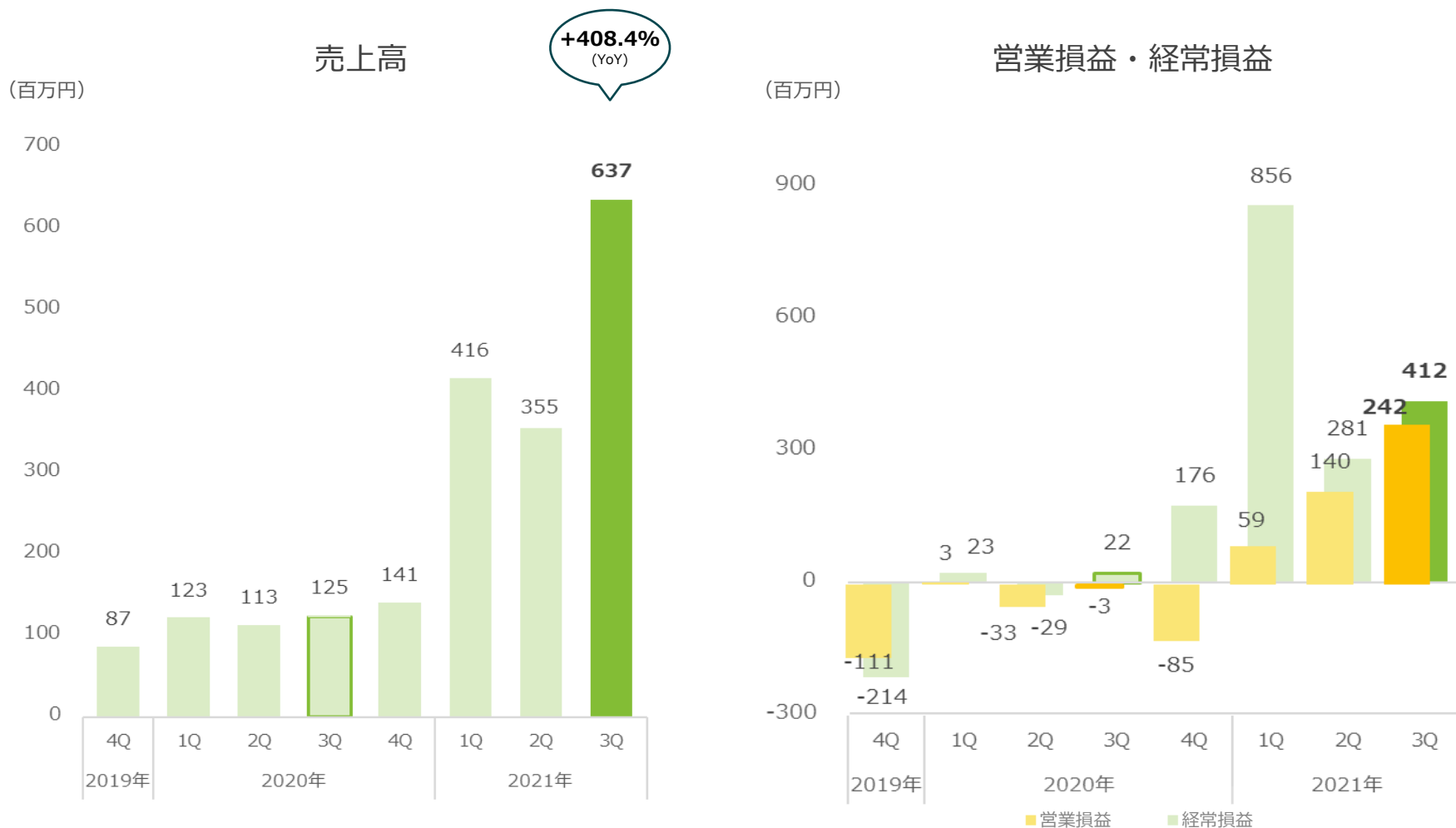
大手企業を中心にDXニーズの高まりにより前年同期比で22.5%増収
強みのあるオムニチャネルからメーカー・金融などの新規顧客獲得に成功



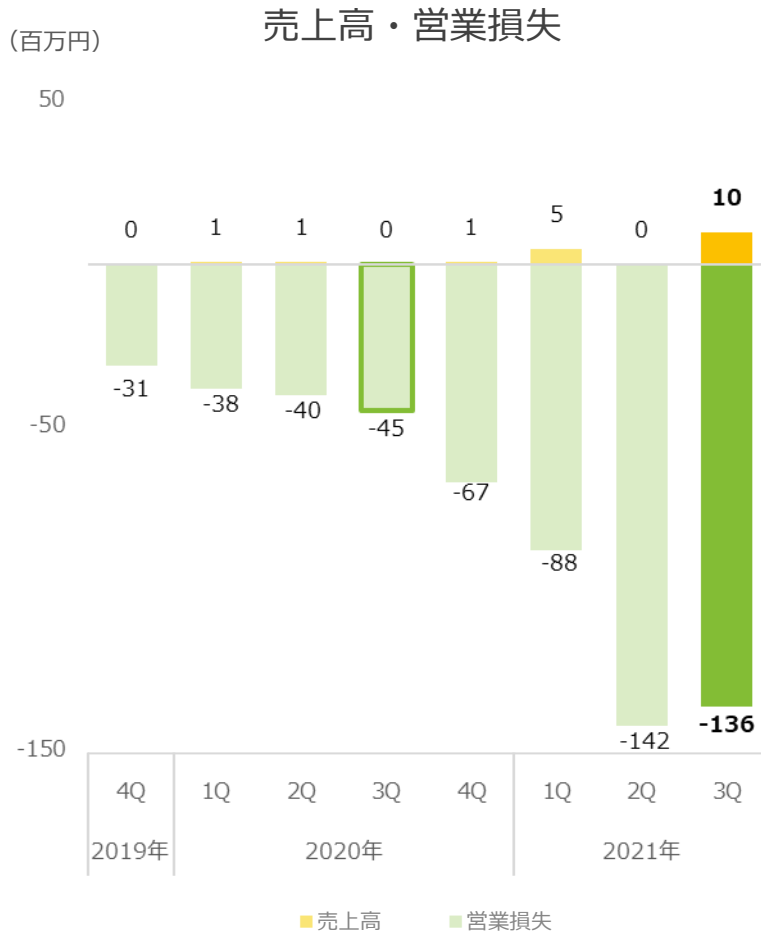
■ 営業利益 (左軸) ● 従業員数 (右軸)

※ 公表数値については、連結前の単体数値で表記しています。

ファクタリング事業をベースにスマートアプリ株式売却で408.4%増収 マーキュリーとnugget（ナゲット）への先行投資を吸収し黒字転換



暗号資産販売所を運営するブロックチェーン戦略の中核子会社
モッピーポイントとの連携を開始・先行投資を行い会員獲得を強化



CoinTradeのビジネスモデル



第3四半期の取組み

- モッピーポイントとRealPayギフトの交換先で取扱5通貨がリアルタイム交換開始
- 取扱通貨拡大のため新規通貨上場準備中

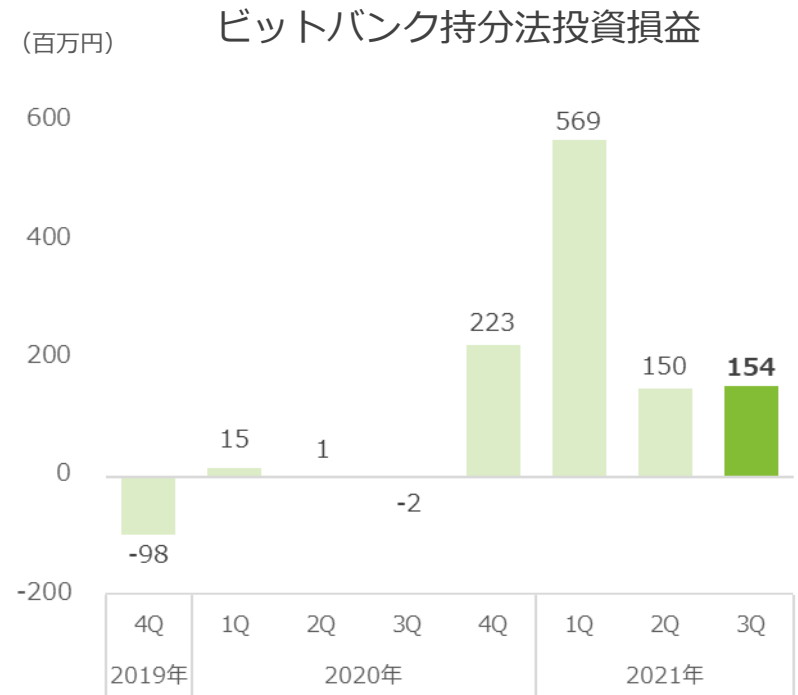
国内最大規模の現物暗号資産取引所を運営（持分法適用関連会社）
ミクシィと資本業務提携を締結し総額75億円の資金調達を実施

資金調達の概要

- ▶ 顧客資産の保全を目的に財務健全性の強化
- ▶ 既存事業の拡大に加え、IEO、カストディ、ステーキング、NFT、レイヤー2決済などの新規事業へ積極的に投資予定



連結業績への貢献



増資による持ち株比率の低下に伴い持分
変動利益を880百万円計上（特別利益）



D2C・ブロックチェーン関連を中心にセレスとの協業を前提に投資
NFTマーケットを運営するスマートアプリをSBIホールディングスが買収

(2021年9月末)



モバイルサービスと連携

メディア・D2C関連

DINÉTTE Crunch Style Post Coffee flicfit
toridori PETOKOTO ZEROUM ISEC

フィナンシャルサービスと連携

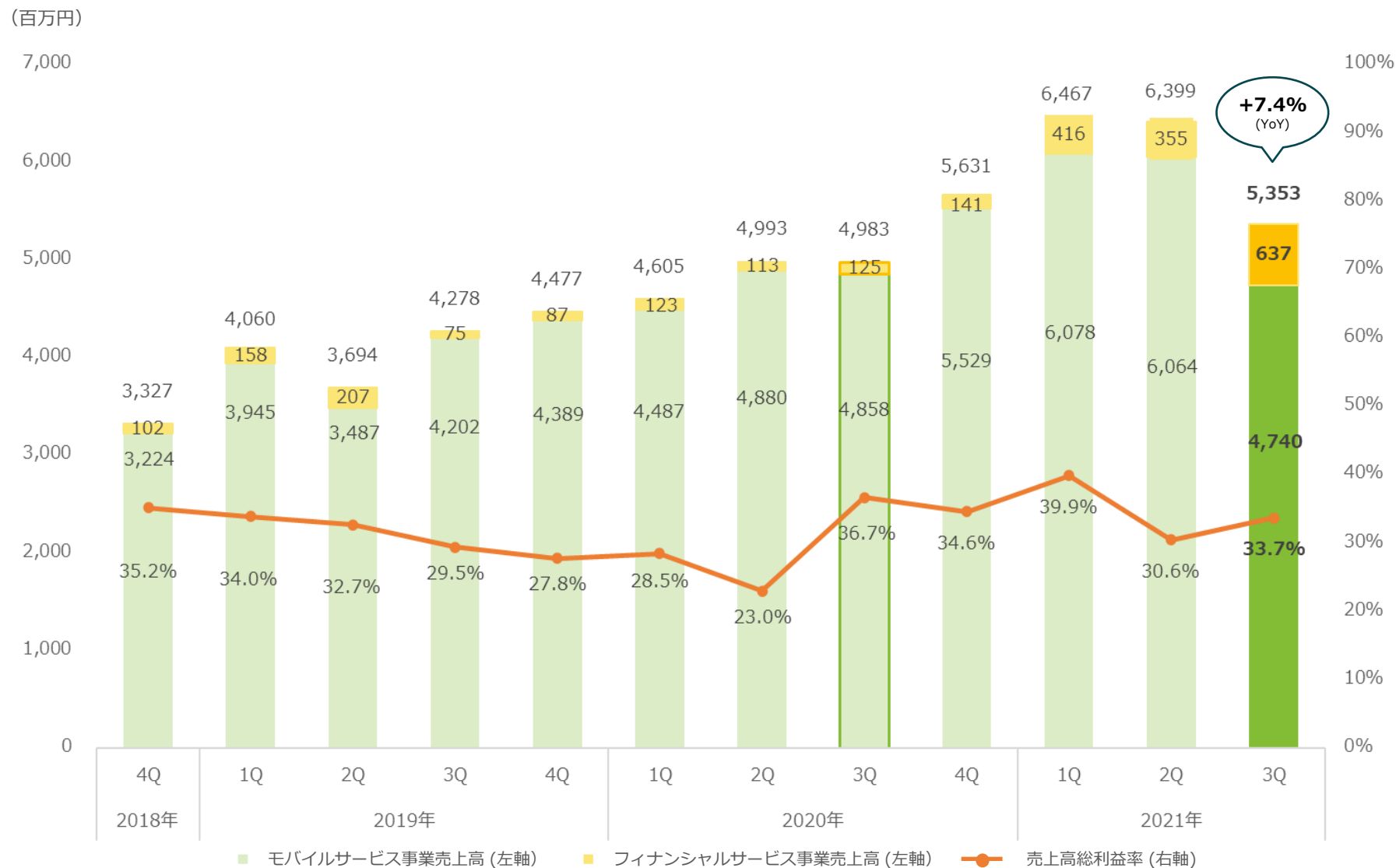
フィンテック・ブロックチェーン関連

Infcurion HashPort sivira BRD
CAMPFIRE GINKAN イークラウド IT Realize



4 . APPENDIX

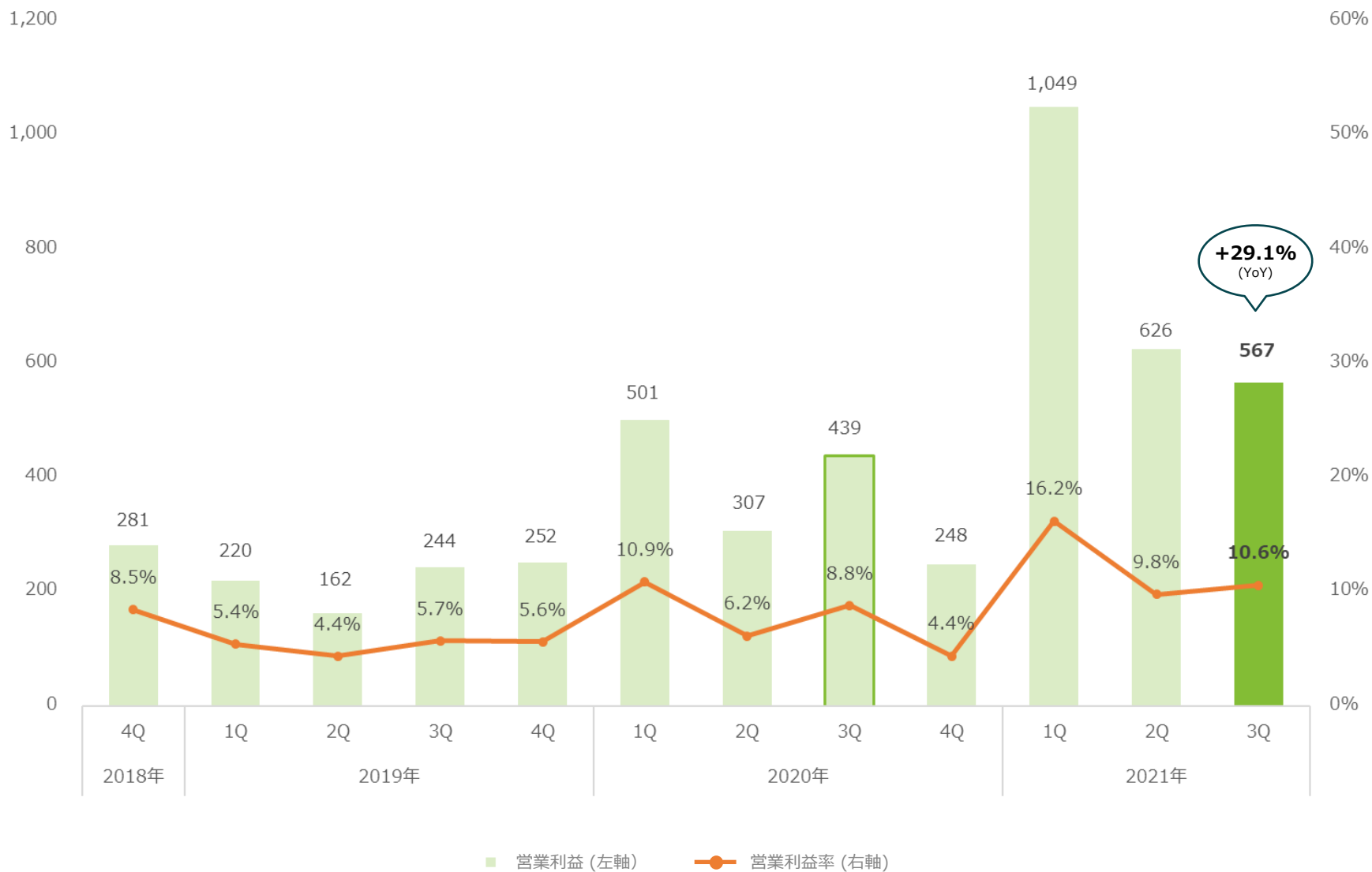
四半期売上高推移



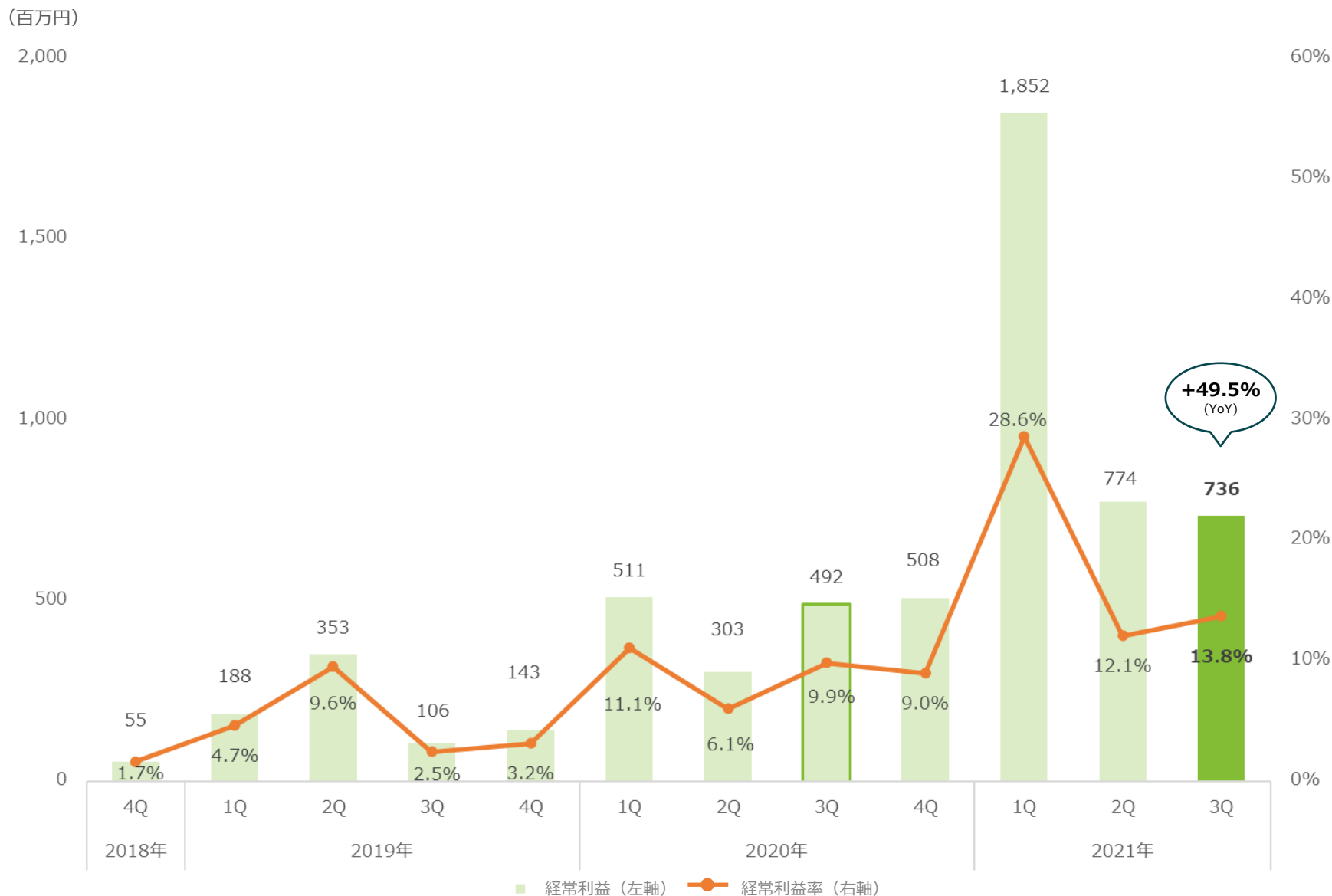
※ セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

四半期営業利益推移

(百万円)

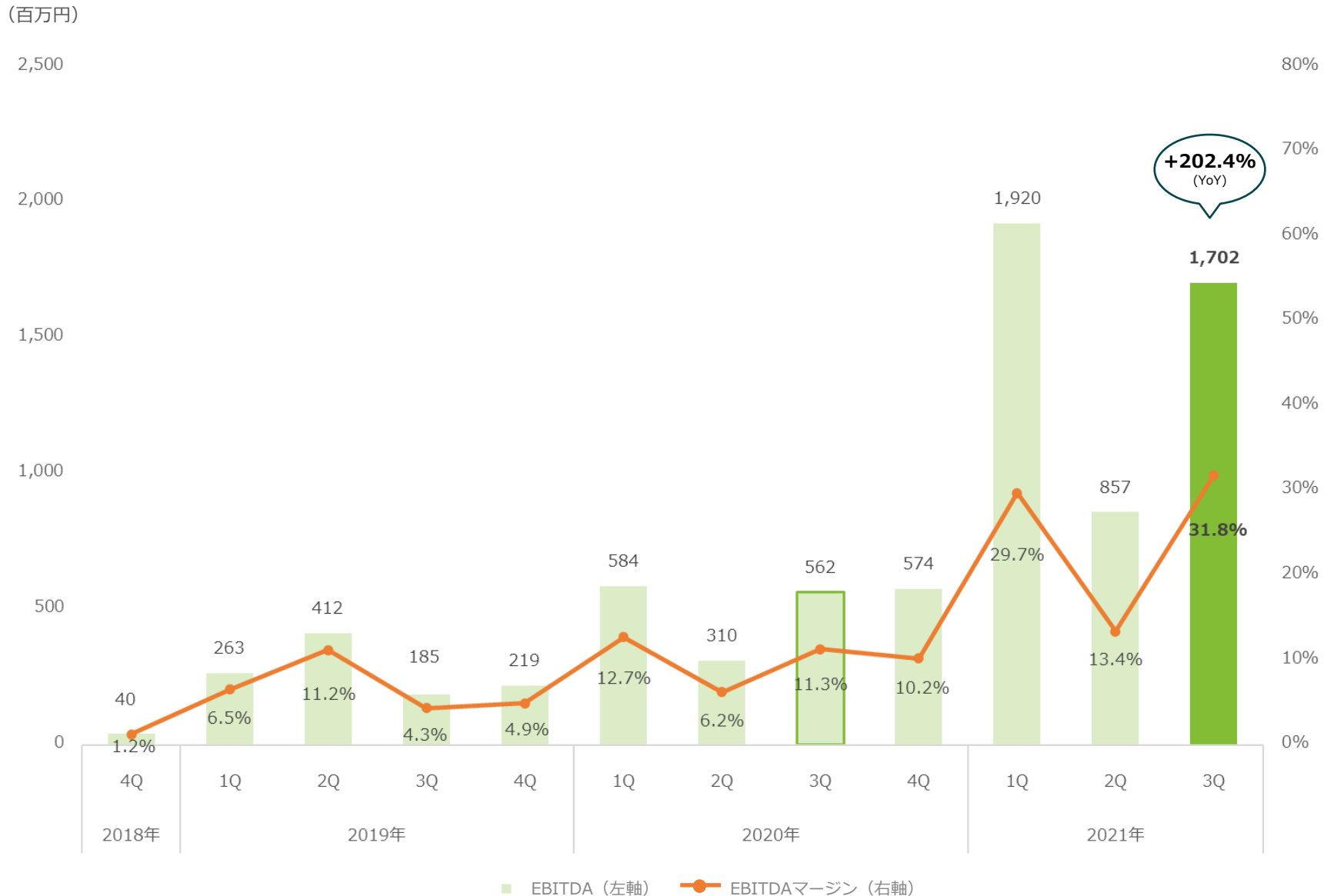


四半期経常損益推移



※ 2018年以前の経常損益の数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。

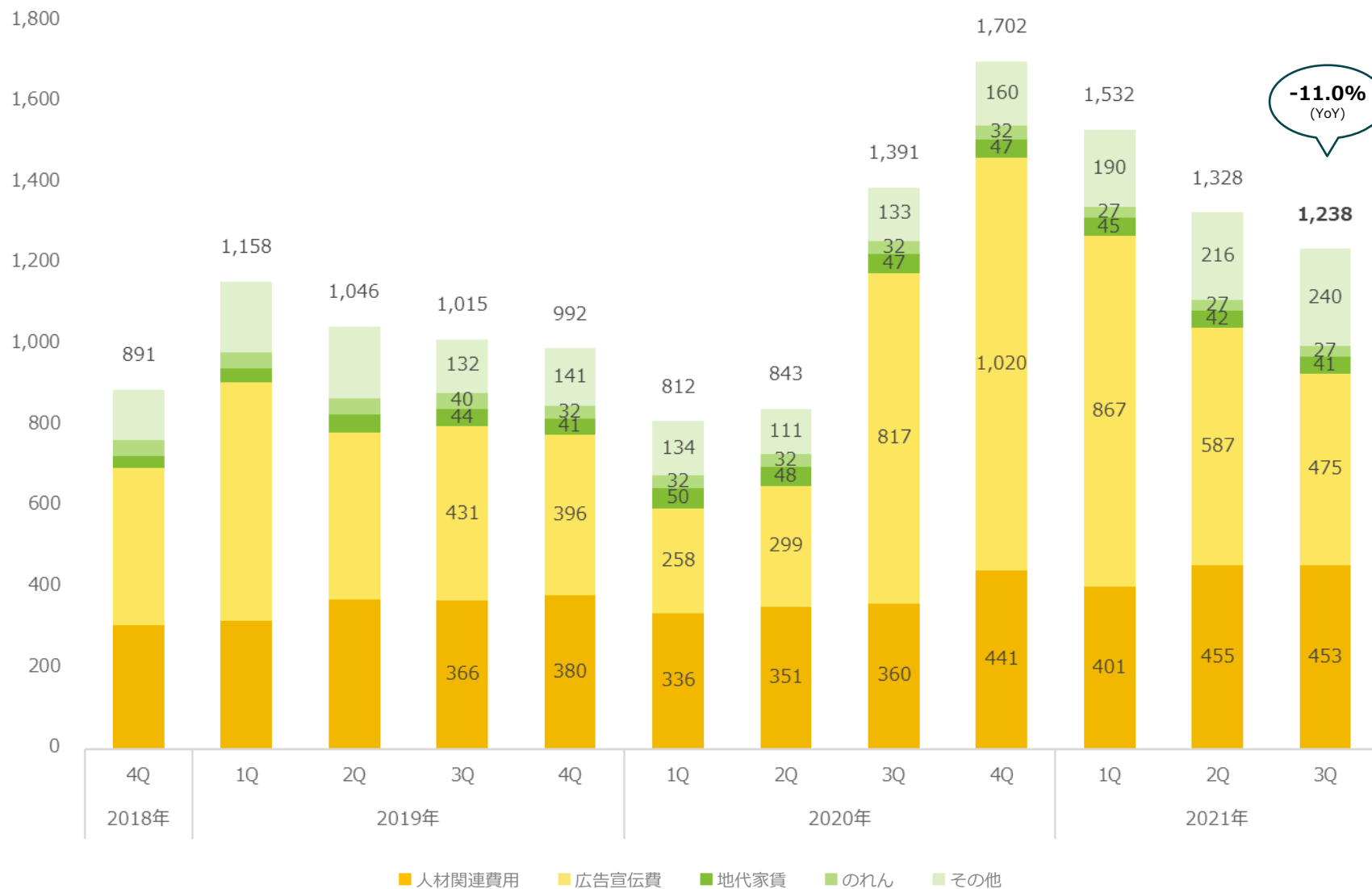
四半期EBITDA推移



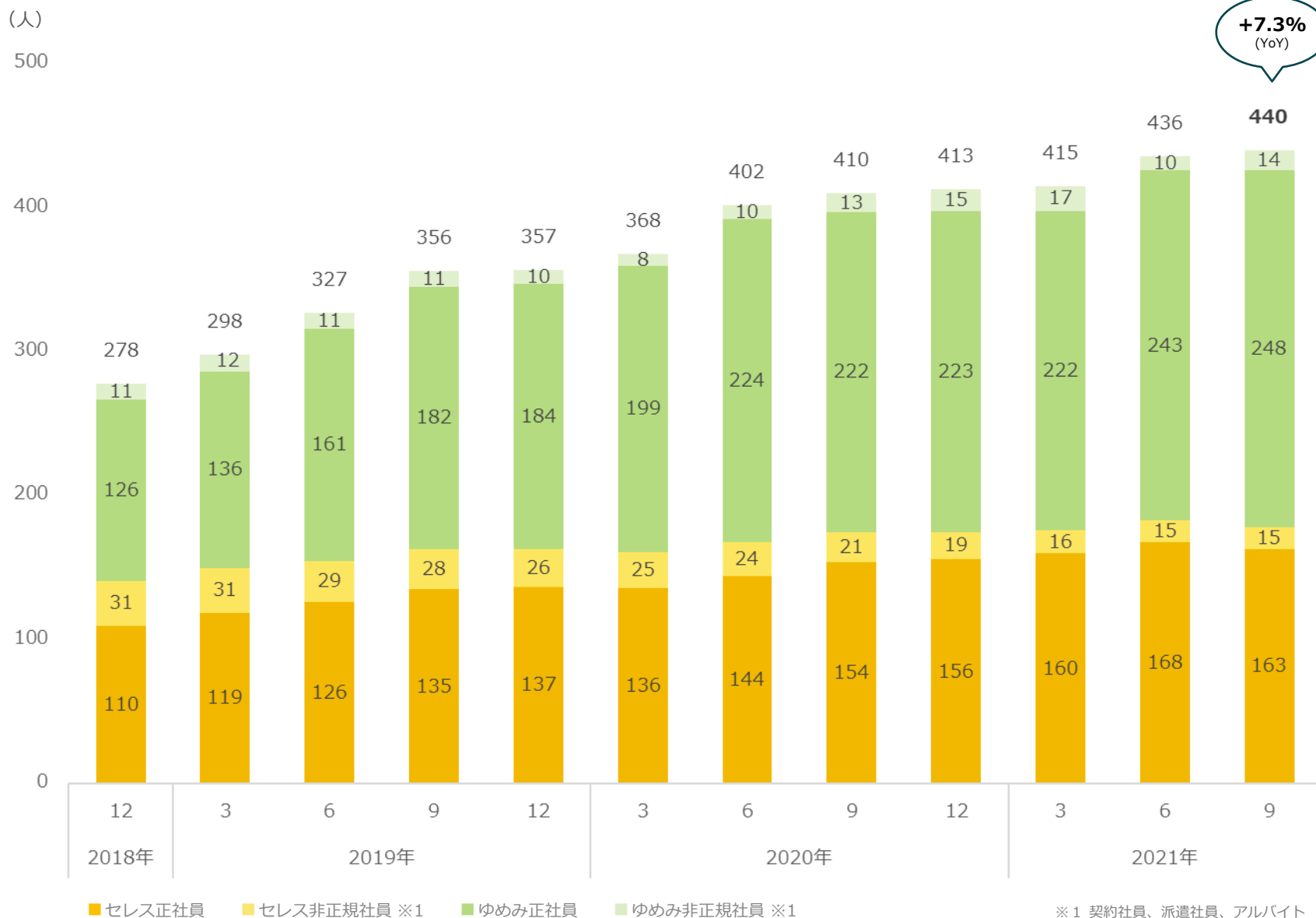
※ 2018年以前のEBITDAの数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。

四半期販売費及び一般管理費推移

(百万円)



従業員数推移



業績ハイライト

四半期売上高

(単位：百万円)	2019年	2020年				2021年		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	4,477	4,605	4,993	4,983	5,631	6,467	6,399	5,353
モバイルサービス事業	4,389	4,487	4,880	4,858	5,529	6,078	6,064	4,740
ポイントメディア	1,470	1,711	1,268	1,192	1,592	2,405	2,367	2,020
アフィリエイトプログラム	1,514	1,735	2,495	1,887	1,934	1,722	1,874	1,189
コンテンツメディア	532	335	383	990	1,110	1,201	862	726
ゆめみ	872	704	732	788	893	833	1,035	966
セグメント内の振替高	-	-	-	-	-	-84	-74	-162
フィナンシャルサービス事業	87	123	113	125	141	416	355	637
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-6	-1	-0	-40	-27	-20	-23

四半期営業利益

(単位：百万円)	2019年	2020年				2021年		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業利益	252	501	307	439	248	1,049	626	567
モバイルサービス事業	582	690	534	670	557	1,231	698	556
フィナンシャルサービス事業	-111	3	-33	-3	-85	59	140	242
調整額	-218	-192	-193	-227	-223	-242	-213	-231



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。